

御前崎市 公共施設白書



平成 26 年 9 月



目次

第 1 章	公共施設白書について	1
第 1 節	白書作成の背景	1
第 2 節	白書作成の目的	1
第 3 節	白書で対象とする施設	2
第 4 節	公共施設の用途別分類	2
第 2 章	御前崎市の概要について	3
第 1 節	概要	3
第 2 節	人口	4
第 3 節	財政（普通会計）	5
第 3 章	御前崎市の公共施設の現状について	7
第 1 節	用途別の保有状況	7
第 2 節	保有状況の他市との比較	8
第 3 節	築年別の整備状況	9
第 4 節	築年別の保有状況	9
第 5 節	耐震化実施状況	10
第 6 節	将来の施設の更新費用	10
第 4 章	施設用途別にみた公共施設の現状	12
	(普通会計)	
第 1 節	市民文化系施設	14
第 2 節	社会教育系施設	21
第 3 節	学校教育系施設	24
第 4 節	スポーツ・レクリエーション系施設	30
第 5 節	子育て支援施設	34
第 6 節	福祉・保健施設	40
第 7 節	行政系施設	44
第 8 節	公営住宅	52
第 9 節	公園	56
第 10 節	その他	59
	(水道会計)	
第 11 節	上水道施設	62
	(下水道・農業集落排水会計)	
第 12 節	下水道施設	64
	(病院会計)	
第 13 節	医療施設	66
第 5 章	公共施設マネジメントの必要性和今後の取組について	68
第 1 節	公共施設マネジメントの必要性	68
第 2 節	今後の取組について	69

第1章 公共施設白書について

第1節 白書作成の背景

本市では、拡大する行政需要や住民ニーズの高まりにより、電源立地地域対策交付金を活用することで他自治体と比べても多くの公共施設を建設してきました。その結果、本市が所有する公共施設は、市役所などの事務所、義務教育を提供するための小中学校、図書館や市民会館など多くの市民の方々に利用される文化施設やスポーツ施設、市営住宅など多岐にわたっています。

これまでは、新しい公共施設をどのように整備していくかに重点が置かれ、施設の所管課がそれぞれの施設特性（機能）に合わせて個別に対応していたため、公共施設の全体像を統一的に整理したものではありませんでした。

しかし、それらの施設が今後、更新時期を迎えることから、多額の修繕や建替費用に対する財源の確保が必要となります。また、現下の厳しい財政状況の中、少子高齢化の進行と人口減少に対応していくには、今後は既存公共施設をできる限り有効に活用し、時代とともに変化する市民ニーズに適切に対応する必要があります。

第2節 白書作成の目的

今回、平成26年3月31日現在で本市が所有する公共施設について公共施設白書（以下「本白書」という。）を作成しました。

本白書は、用途別の保有状況、将来必要となる施設の更新費用や個別施設の利用度・維持管理経費などを明らかにし、利用度とコストによる相対的評価等により、市民との間で公共施設に関する問題意識を共有し、今後の施設のあり方の検討を行うための基礎資料として活用するものです。

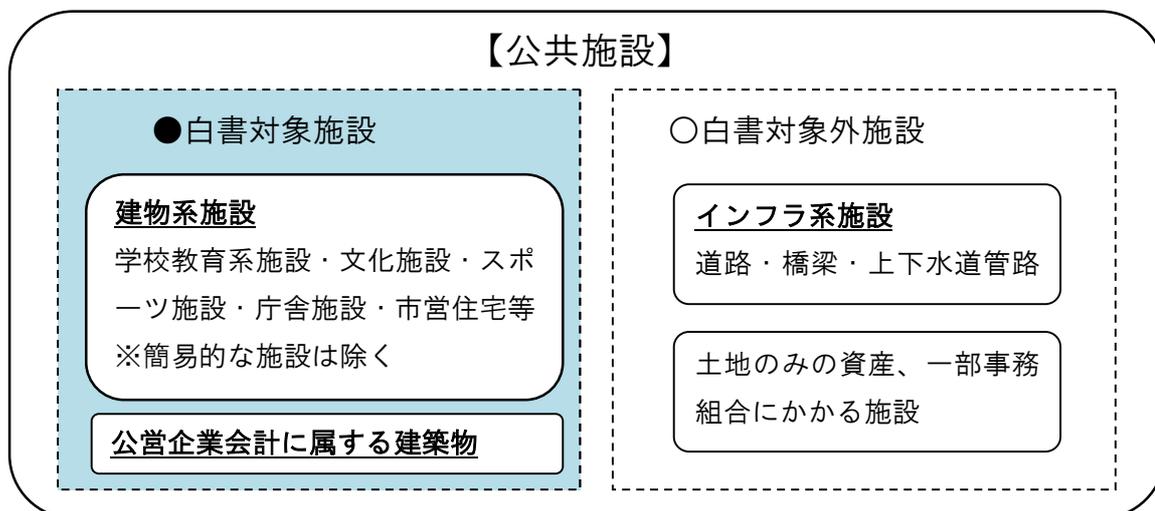
さらに、施設の機能・運営状況・代替施設の有無及び将来の人口動態なども踏まえて、全体的な視点の中で統廃合も含めた適正配置や、より計画的な保全並びに施設の有効活用を図るために、本市の実情に合った公共施設マネジメントの方向性等も併せて検討していきます。



第3節 白書で対象とする施設

本市では、小中学校等の学校教育施設や文化施設、市営住宅やスポーツ施設など、広く市民の皆さまに利用されている公共施設を保有しています。

本白書において対象とする施設は、公共建築物の施設を対象とし、道路・橋梁・上下水道施設などの管路などのインフラ系施設や土地のみの資産は除きます。また、一部事務組合にかかる施設は除きます。



第4節 公共施設の用途別分類

本白書では、公共施設の全体像を分析する上で、総務省が用いている分類によって各施設を用途別に分類し、その現状を分析しています。

《用途別分類一覧》

会計	用途別	主な施設
普通	市民文化系施設	集会施設、文化施設
	社会教育系施設	図書館、博物館
	学校教育系施設	小・中学校、給食センター
	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設、レクリエーション施設、観光施設
	子育て支援施設	保育園、幼稚園、放課後児童クラブ
	福祉・保健施設	高齢者福祉施設、保健施設、障がい福祉施設
	行政系施設	庁舎、消防庁舎、消防団詰所
	公営住宅	市営住宅
	公園	管理棟、トイレ
	その他	その他施設（農水機場、トイレ、CATV など）
水道	上水道施設	浄水処理場、配水場
下水道 農集排	下水道施設	下水処理施設
病院	医療施設	市立病院

第2章 御前崎市の概要について

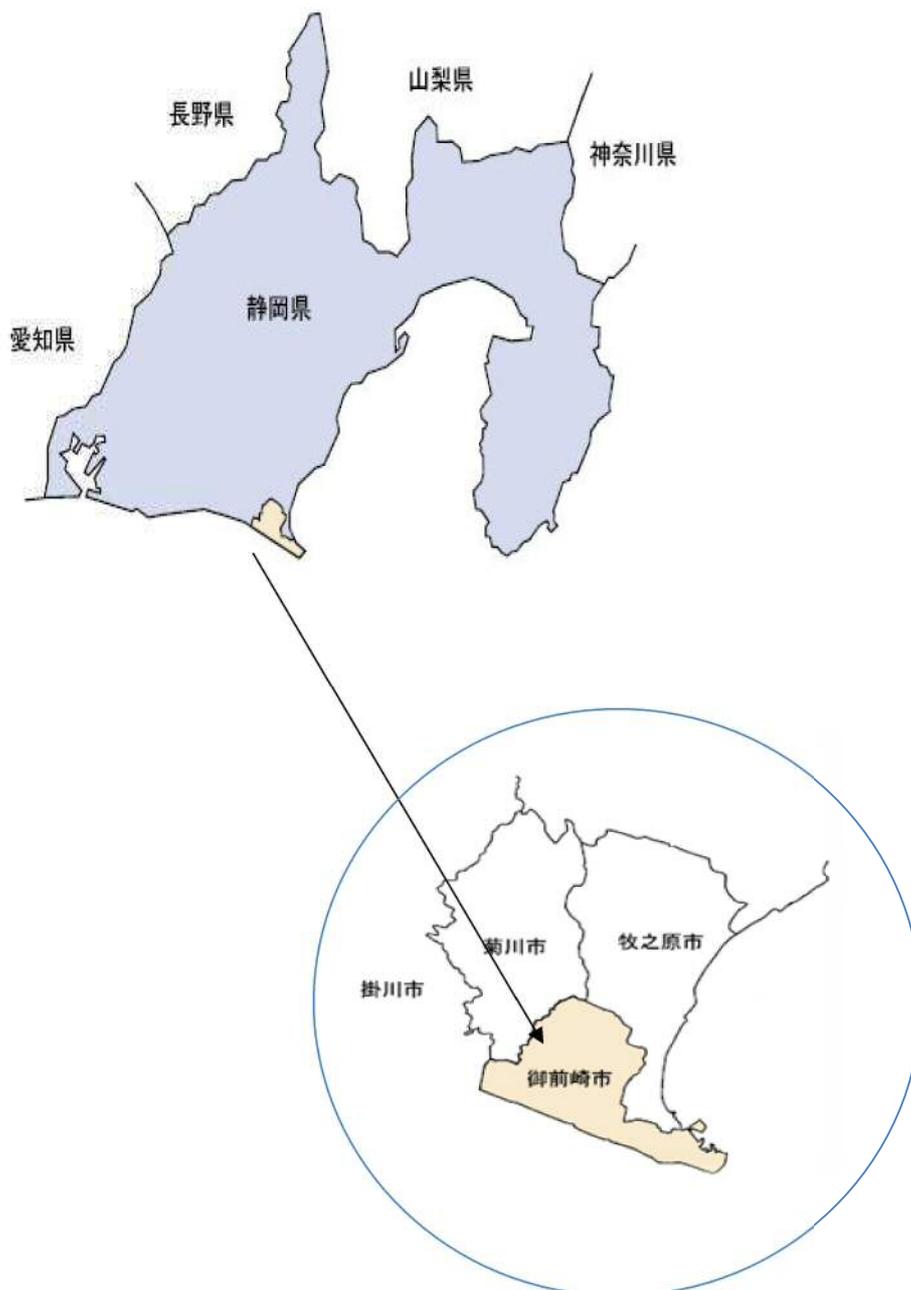
第1節 概要

本市は、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯など豊かな自然環境に恵まれた市です。

一方、御前崎港は5万トン級の大型コンテナ船が接岸できる多目的国際ターミナルをもち東南アジア航路が就航し、近隣市には静岡空港も開港しています。

また、遠州灘沿いには最先端技術を結集した浜岡原子力発電所が立地し、物流・エネルギー基地としての基盤が整っています。

《御前崎市の位置》



第2節 人口

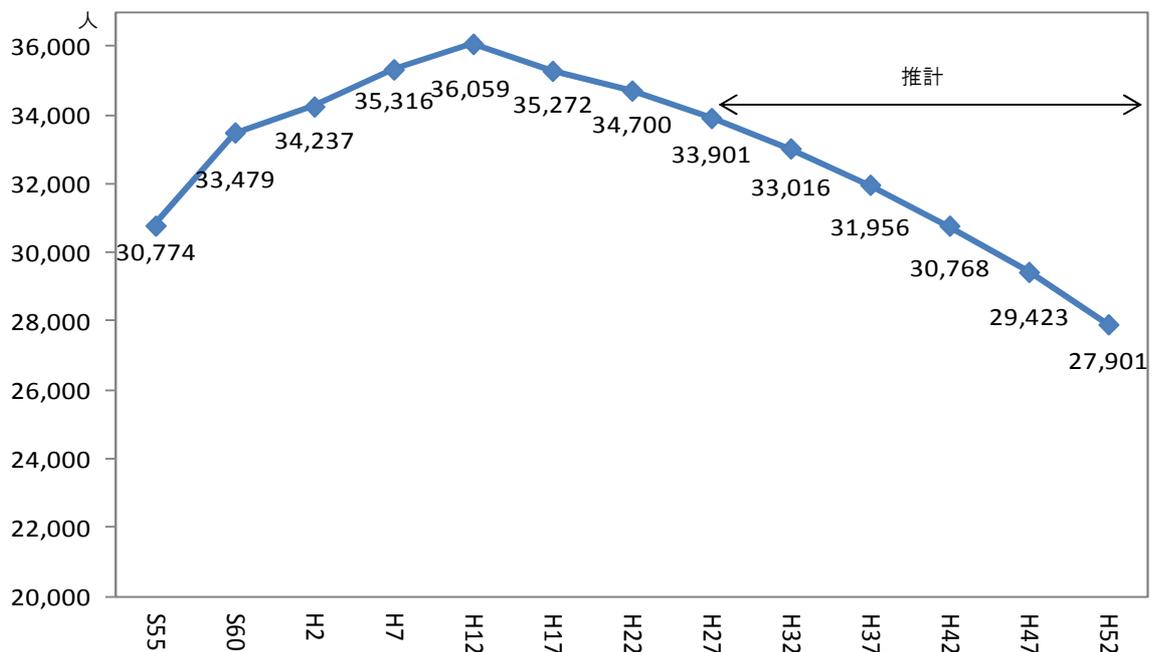
国勢調査に基づく本市の人口は、昭和55年に30,774人でしたが、平成2年には34,237人と10年間で3,463人増加（11.3%）しました。その後も増加し、平成12年には36,059人と3.6万人を超えましたが、これをピークに減少に転じ、平成22年には34,700人と10年間で1,359人減少（▲3.8%）しており、その後も減少傾向が続いています。

また、年齢区分別の人口構成割合をみると、年少人口（0～14歳）は、昭和55年に人口の22.3%を占めていましたが、平成22年には14.1%に減少しています。老年人口（65歳以上）は、昭和55年に人口の12.1%を占めていましたが、平成22年には22.7%に増加しています。

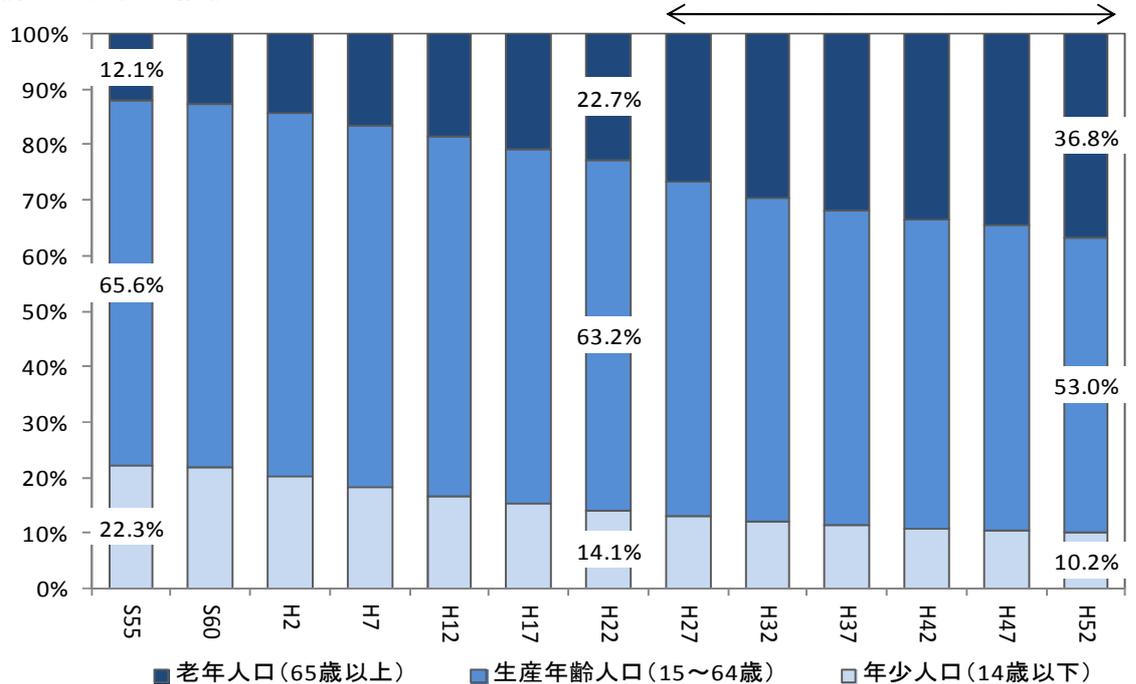
（1）将来人口推計

（社）国立社会保障・人口問題研究所の公表する「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月公表）においては、御前崎市の人口は今後も減少し平成52年の人口は27,901人、人口構成割合では年少人口は10.2%、老年人口は36.8%になると推計されています。

《人口の推移》



《年齢構成別割合の推移》



第3節 財政（普通会計）

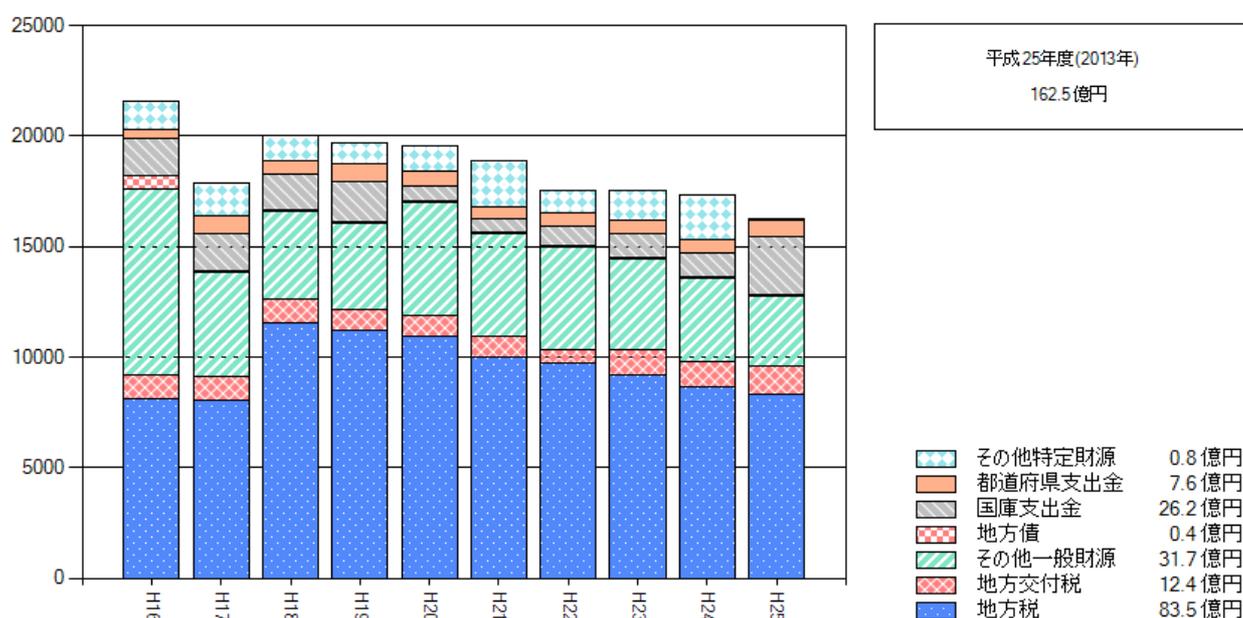
（1）歳入

過去の歳入状況の推移を見ると、平成18年度は約200億円となっていました、その後は減少を続け、平成25年度には約162億円となっています。

歳入決算額の内訳は、一般財源※が127.5億円、特定財源※が34.9億円となっています。このうち、一般財源の内訳は市税が83.5億円（51.4%）、地方交付税が12.4億円（7.6%）、その他一般財源が31.7億円（19.5%）となっており、特定財源の内訳は国庫支出金が26.2億円（16.1%）、地方債が0.4億円（0.2%）、県支出金が7.6億円（4.7%）、その他特定財源が0.8億円（0.5%）となっています。

《歳入決算額の推移》

百万円



資料：決算統計

※一般財源：財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用することができる財源をいいます。地方税、地方譲与税、地方交付税、地方特例交付金などが該当します。

※特定財源：財源の用途が特定されている財源をいいます。国庫支出金、県支出金、地方債、分担金、負担金、使用料、手数料、寄付金などが該当します。

(2) 歳出

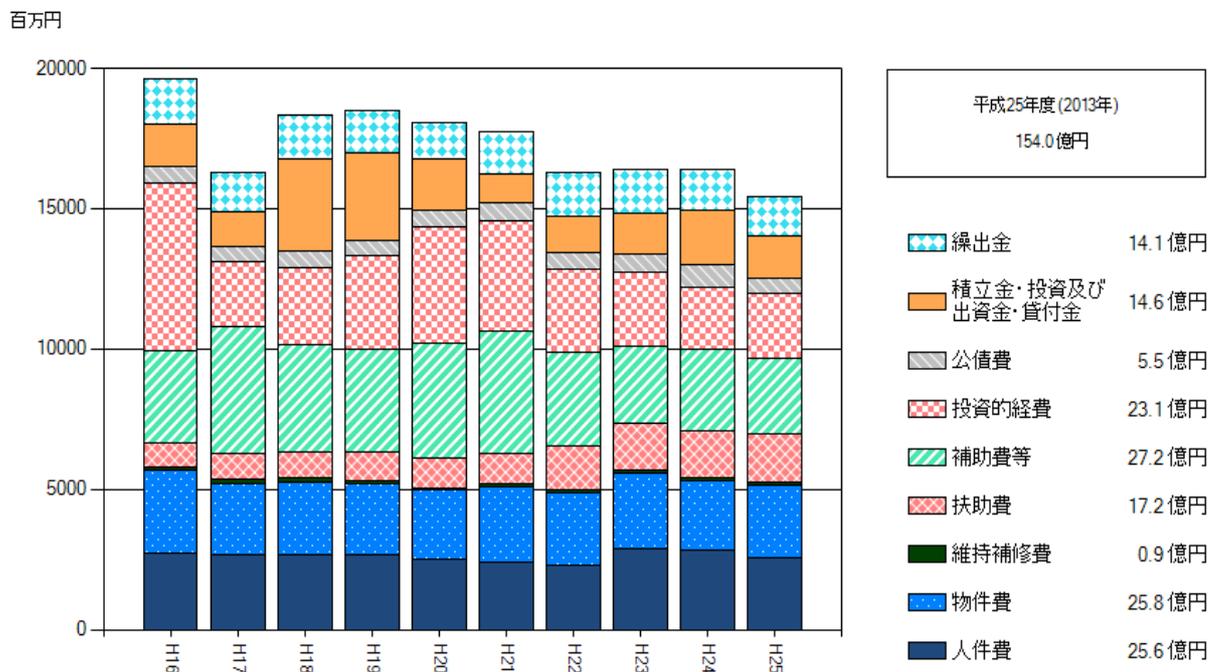
過去の歳出状況の推移を見ると、平成18年度から平成20年度にかけて約180億円程度となっていました。平成21年度には約170億円となり、平成22年度からは約160億円となっております。

平成25年度の歳出を内訳に見ると、消費的経費[※]が96.7億円、積立金・投資及び出資金・貸付金が14.6億円、公債費が5.5億円、投資的経費[※]が23.1億円となっております。

このうち、消費的経費の内訳は人件費25.6億円、物件費25.8億円、扶助費17.2億円、補助費等27.2億円、維持補修費0.9億円となっております。

経年的にみると、年度によってばらつきはありますが、扶助費（子ども手当や障がい者サービス、生活保護費など）が年々増加傾向にあります。投資的経費は平成20年度以降減少傾向にあります。

《歳出決算額の推移》



資料：決算統計

※消費的経費：人件費、扶助費、物件費、維持補修費、負担金補助及び交付金等で、その経費の支出効果はその年度限り極めて短期間に終わるものをいい、後年度に形を残さない性質の経費です。

※投資的経費：経費支出の効果が施設等のストックとして後年度に及ぶ性質の経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費があります。

第3章 御前崎市の公共施設の現状について

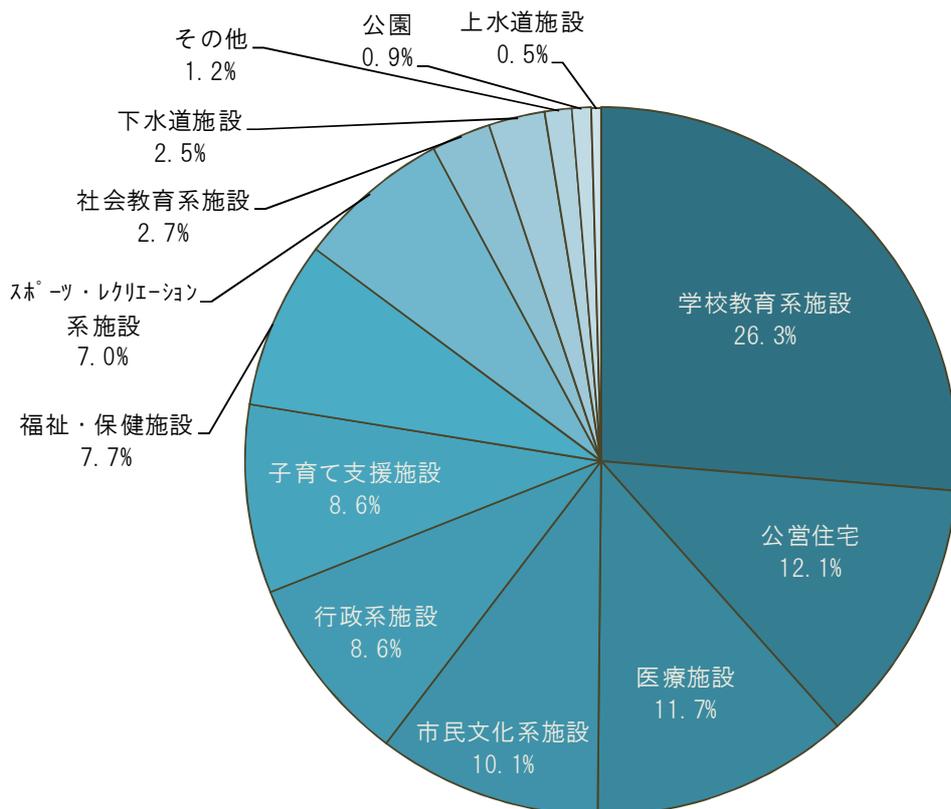
第1節 用途別の保有状況

御前崎市の平成26年3月31日現在の公共建築物は155施設あり、総床面積は174,396㎡あります。建物総延床面積が最も大きいのは学校教育系施設が45,934㎡で26.3%を占めています。次いで公営住宅が21,187㎡で12.1%、医療施設が20,351㎡で11.7%を占めています。

《対象施設の分類一覧》

会計	用途別	施設数	建物数	延床面積 (㎡)
普通	市民文化系施設	15	28	17,680
	社会教育系施設	4	7	4,677
	学校教育系施設	8	64	45,934
	スポーツ・レクリエーション系施設	9	29	12,197
	子育て支援施設	13	41	15,057
	福祉・保健施設	9	14	13,352
	行政系施設	26	34	15,083
	公営住宅	10	32	21,187
	公園	17	38	1,507
	その他	17	18	2,137
水道	上水道施設	6	17	788
下水道	下水道施設	8	16	4,446
病院	医療施設	13	18	20,351
合 計		155	356	174,396

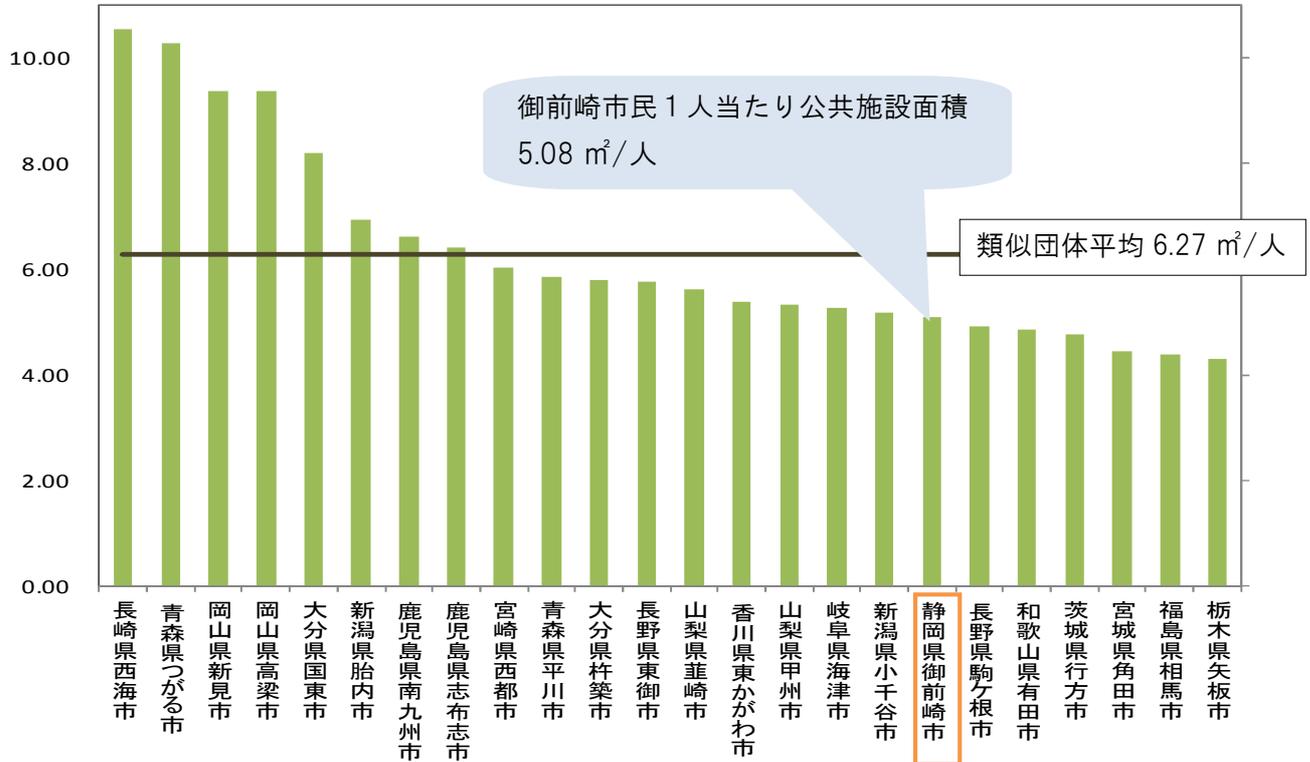
《施設用途別の保有状況》



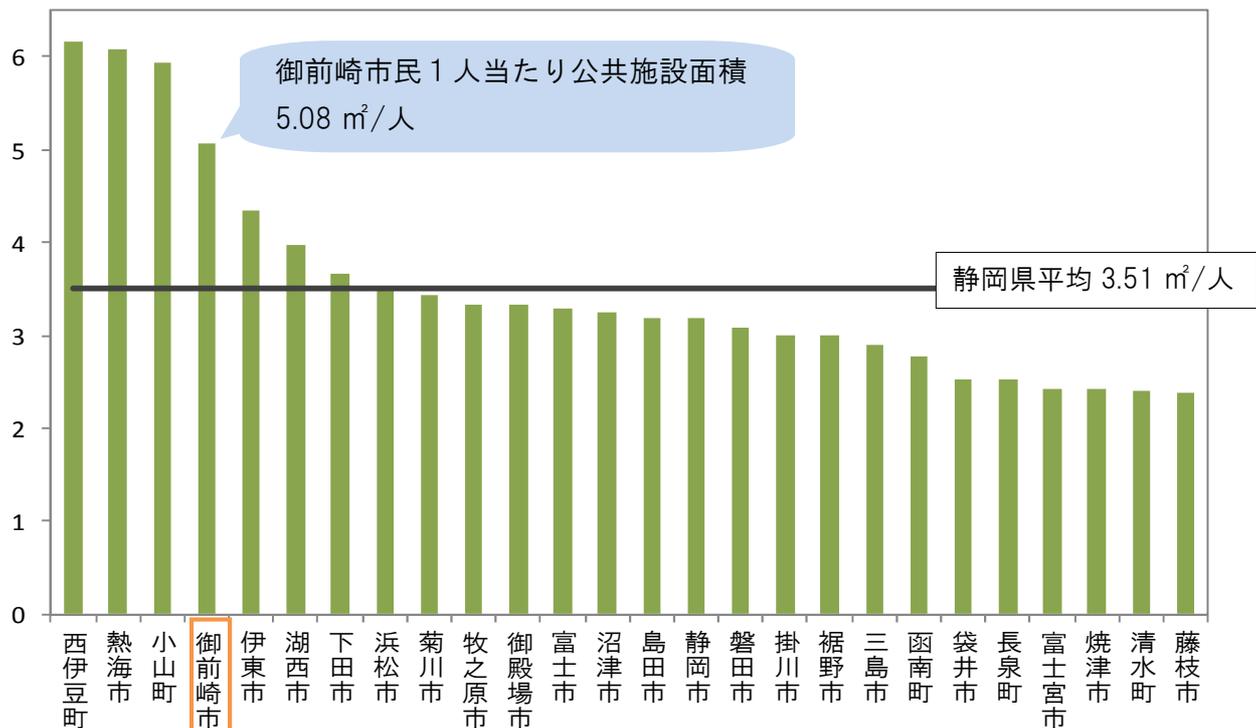
第2節 保有状況の他市との比較

本書で公表する公共施設の数[※]は155施設、延床面積の合計は174,396㎡（平成26年3月31日現在）となっています。面積を東京ドーム[※]の広さに例えると、約3.7個分、浜岡球場[※]の10.8個分に相当します。なお、市民1人当たりの公共施設面積は5.08㎡/人で、類似団体[※]との比較においては平均より少なくなっておりますが、県内で4番目に多い保有状況となっており、県平均3.52㎡/人を上回っています。

《市民1人当たりの延床面積（全国類似団体比較）》



《市民1人当たりの延床面積（県内他市比較）》



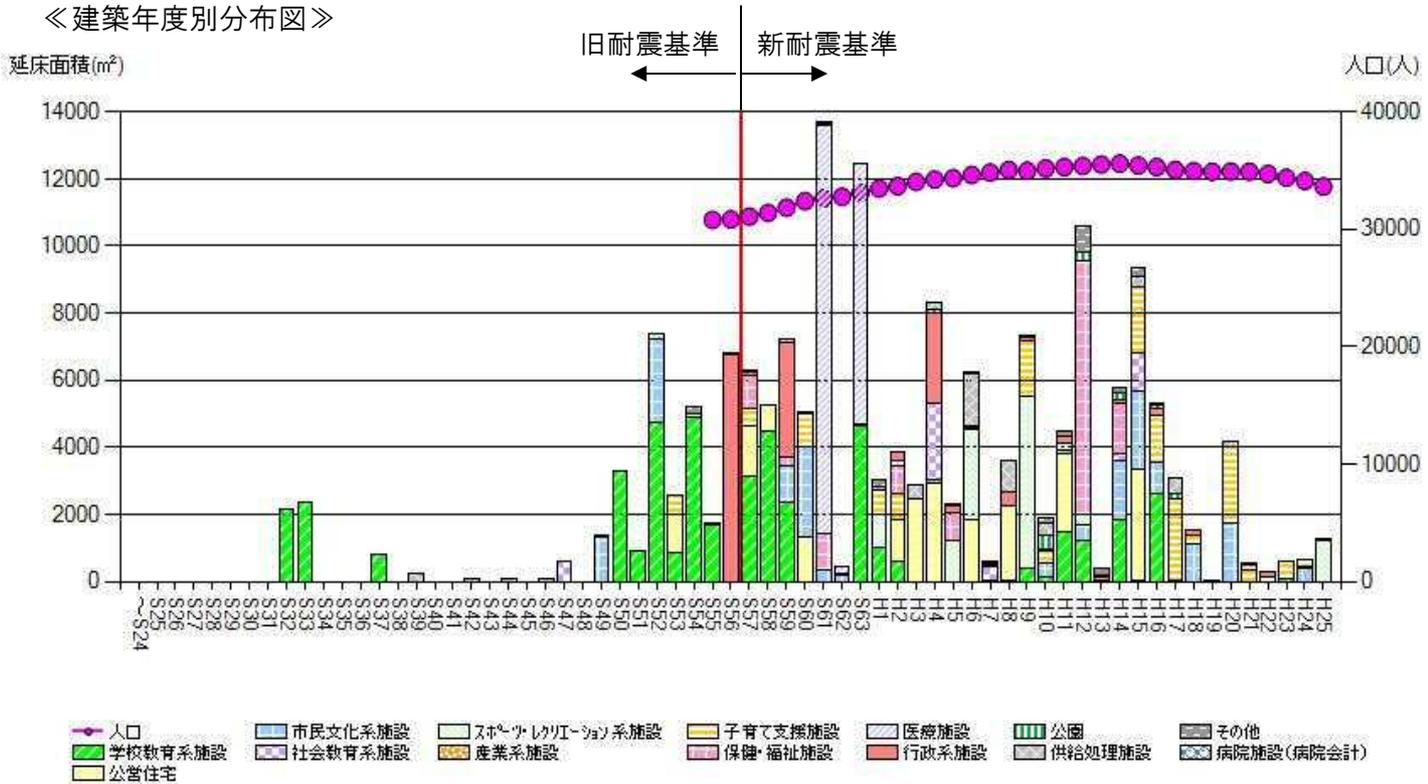
※東京ドームの建築面積は46,755㎡、浜岡球場の建築面積は16,200㎡
 ※県内市町データの延床面積は、各市ホームページによる公表資料をもとに作成しており、最新データや実際の数値と異なる場合があります。またデータがない市町は省略しております。
 ※類似団体：I-O（61団体）人口5万人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次95%未満かつⅢ次55%未満の団体その内人口規模（3万～4万人）に近い24市を抜粋し調査を実施。

第3節 築年別の整備状況

築年別整備状況をみると、人口の増加と原子力発電所立地に伴う固定資産税や交付金等の増加により、昭和50年代、昭和61年～63年、平成4年～6年、平成9年～12年、平成15～16年に多くの施設が整備されてきました。

特に、小中学校の建て替えが昭和50年頃から昭和63年頃に集中しています。人口の推移と公共施設の累積延床面積をみると、人口は平成12年をピークに減少傾向が続いていますが、施設はその後も増え続けています。

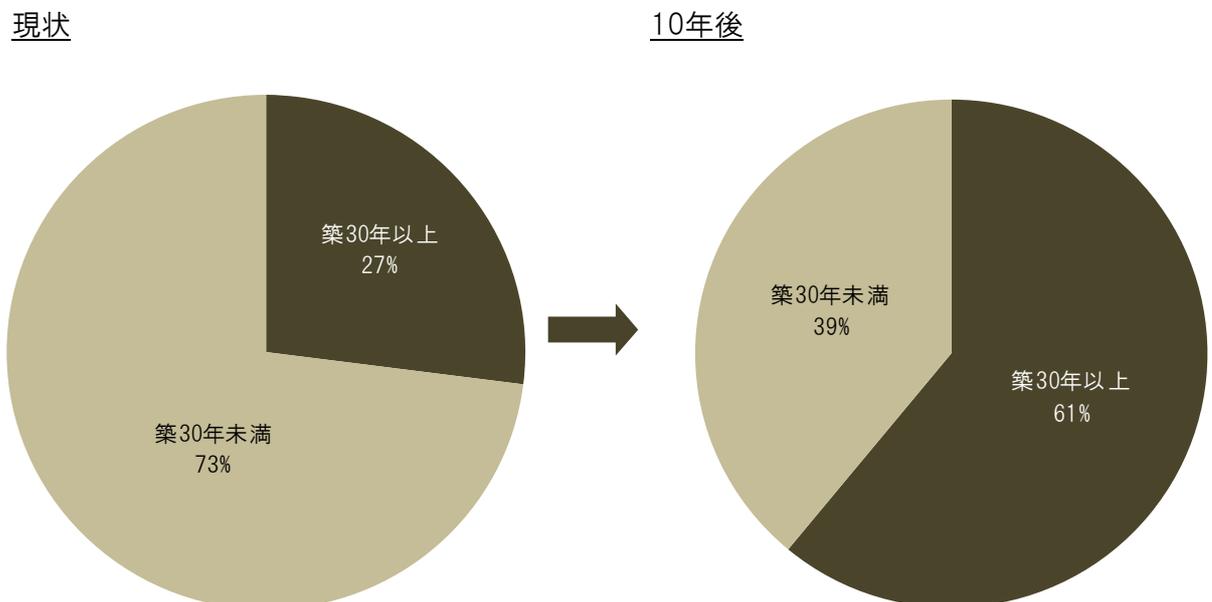
《建築年度別分布図》



第4節 築年別の保有状況

現状築30年以上経過した施設は、全体の約27%となっています。現状ある施設をそのまま維持した場合、10年後には全体の約61%が築30年以上となり、老朽化した施設の割合が増えます。

《築年別保有割合（延床面積）》



第5節 耐震化実施状況

公共建築物は、平常時に多数の市民が利用するほか、災害時に庁舎、学校、社会福祉施設等多くが防災拠点として活用されるため、利用者の安全確保、災害時の拠点としての機能確保の観点から、平成23年3月に「御前崎市耐震改修促進計画」を策定し、公共施設の耐震化に取り組んでいます。平成27年度における特定建築物の公共建築物の耐震化率の目標を100%としており、平成26年3月31日現在で耐震化率100%を達成しています。

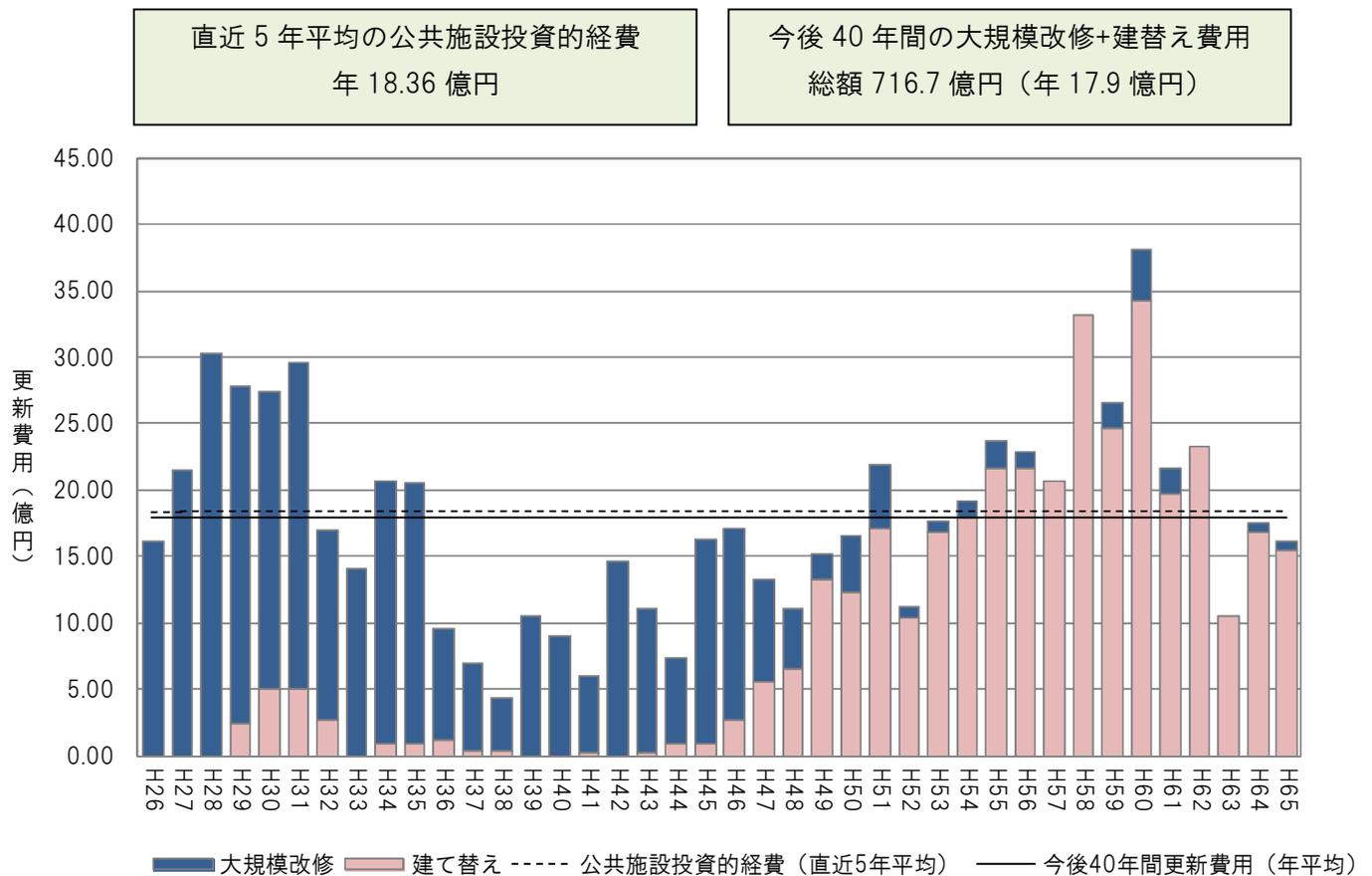
第6節 将来の施設の更新費用

本市が保有する施設の規模を将来にわたって維持する場合、その費用がどの程度になるか推計した結果、平成26年3月31日現在で保有する公共施設に係る今後40年間の更新費用総額は716.7億円となり、年間で17.9億円が必要になると考えられます。

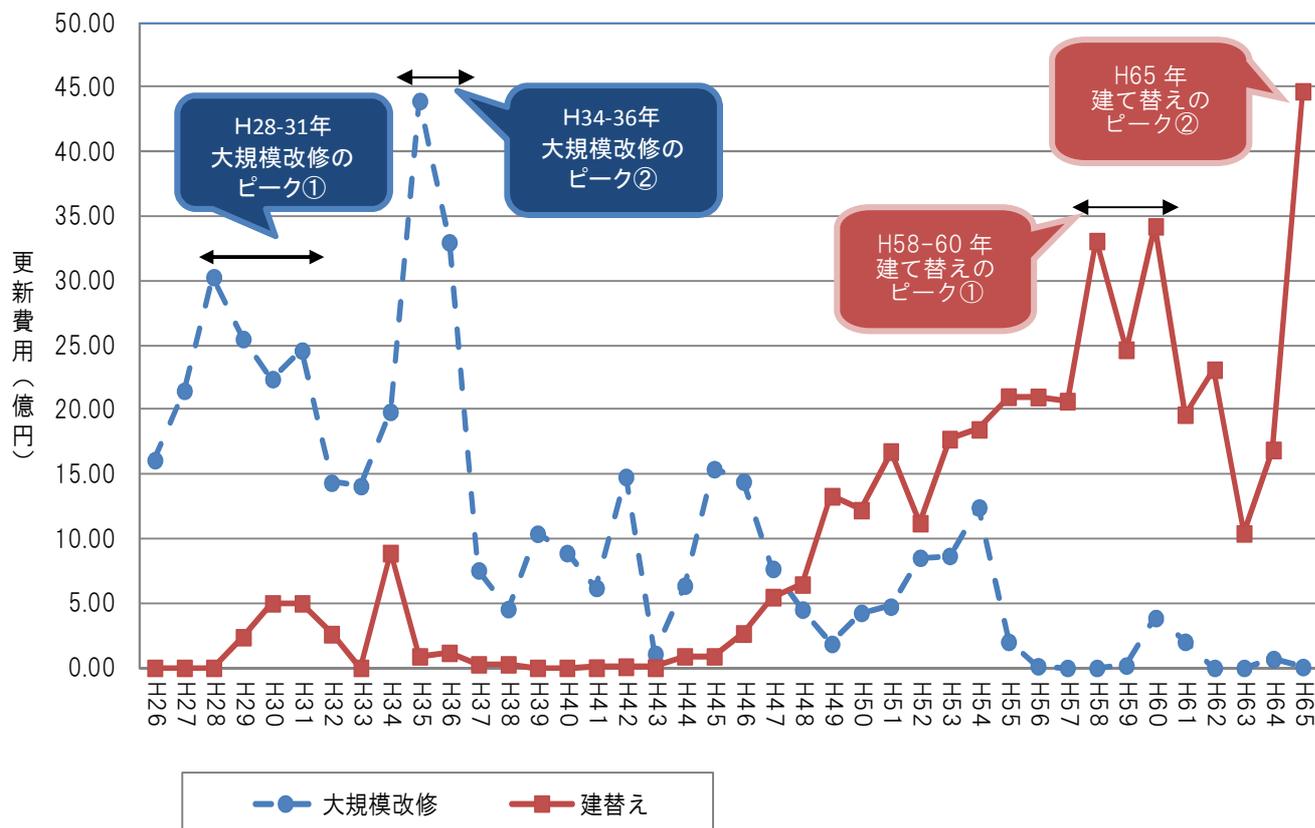
なお、今後10年間に築30年以上の老朽化した公共施設の大規模修繕が控えており、通常の大規模修繕と合わせて平成26年～35年には10年間で約233億円（約23億/年）の費用が発生する見通しとなっています。

また、平成51年以降は耐用年数に達した公共施設の建て替えが必要になり、平成58年～60年頃には建て替えのピークとなり3年間で約93億円（約31億円/年）の費用が発生すると考えられます。

《建て替え・大規模修繕等に係る将来費用》



《更新内容別将来費用推移》



《公共施設更新費用試算ソフトの前提条件》

公共施設等の分類ごとに、更新年数（標準的な建築物の耐用年数である60年）経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定し、延べ床面積等の数量に更新単価を乗じて、今後40年間の施設の更新費用を以下の条件で試算します。

- ・ 建築から30年経過後に大規模改修（設備等）、60年経過後に建て替えを行います。
- ・ 単年度に負担が集中しないように、大規模改修の修繕期間は2年間とし、建て替え期間は3年間とします。
- ・ データ基準日（平成26年3月31日現在）で、すでに大規模改修及び建て替えの時期を迎えている建物は、平成26年度から平成35年度の10年間に割り当てます。
- ・ 更新単価は、既に更新費用の試算に取り組んでいる地方公共団体の調査実績、設定単価を基に用途別に4段階の単価を設定します。なお、大規模改修の単価は、建て替えの約6割で想定します。

○更新（建て替え）単価の設定額

市民文化系、社会教育系、行政系等施設	40万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設	36万円/㎡
学校教育系、供給処理施設	33万円/㎡
公営住宅	28万円/㎡

○更新（大規模改修）単価の設定額

市民文化系、社会教育系、行政系等施設	25万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設	20万円/㎡
学校教育系、供給処理施設	17万円/㎡
公営住宅	17万円/㎡

第4章 施設用途別にみた公共施設の現状

本章では、白書対象施設の現状を整理し、今後の整備の方向性の検討の基礎資料とします。基本構成は下記のとおりとします。

(1) 配置状況

施設用途別の公共施設の配置状況を整理し、配置図で示します。

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

各施設の設置目的や施設機能等に応じ、品質状況、管理運営経費、利用状況の3つの観点を基に現状を整理します。

① 品質状況

一般的に建築物は建築後30年を経過すると劣化が急激に進むとされているため、建築から30年以上経過した施設を施設用途別に整理します。

※建築年が不明の建物は対象外とします。

② 管理運営経費の状況

各施設が年間にどの程度の収入があり、施設の管理運営等に要する経費（施設維持管理に関わる職員の人件費含む）が発生しているかについて整理します。

③ 利用状況

各施設の利用状況を施設用途別に整理します。ただし、庁舎施設、消防施設、園等の利用者の把握が困難な施設は除きます。

(3) 記載内容について

白書対象施設の現状を把握するため、施設の基本情報や建物（棟）情報、収支状況、利用状況に関する「公共施設実態調査」を、施設を所管する担当課を対象に実施し、その調査結果などをもとに整理しました。なお、データが不明または算定等ができない場合は、「－」を記載しています。

① データ基準日

平成26年3月31日を基準日。

② 施設一覧

項目	内容
分類	施設の使用目的による分類を掲載しています。
施設名称	施設の名称は「御前崎市」や「御前崎」を省いて掲載しています。☞は指定管理施設。
延床面積	施設（建物）の延床面積（小数点以下切捨て）です。複合施設については、当該施設の使用する面積を記入しています。
建築年	建物（棟）の建築年を記入しています。ただし、複数棟で構成されている施設は、主な建物（延べ床面積が一番大きい）の建築年を掲載しています。
経過年数	施設が建築されてからの経過年数は、2013年を基準に算出しています。（建築年月が不明の施設は算出対象外としています。）

③管理運営経費

管理・運営に係る経費は、平成25年度の決算額（万円未満切捨て）を基本に整理しています。ただし、本来は施設の維持や管理に要する経費を整理すべきですが、今回の調査においては、各施設の維持管理費と事業運営費の仕分けができなかった施設については、維持管理費に事業費を含んだ数字となっています。また、決算額と異なるため目安として考えてください。

管理運営経費の予算科目は、支出は職員人件費※、光熱水費、工事請負費・修繕費（新設費用除く）、使用料及び賃借料（借上料除く）、委託料※（事業委託、施設管理等に係る委託）、備品購入費などで、収入は使用料、利用料金収入、自主事業収入などとなっています。また、複合施設のうち施設の管理運営を一括で行っている場合はその施設に掲載しています。なお、公営企業会計の上水道施設（上水道事業会計）、医療施設（病院事業会計）は、各年度の事業会計決算額となっています。

※職員人件費・・・施設の維持管理に関わる職員数に平均給与額を乗じて算出していますので、実際の支払額（決算額）とは異なります。

※委託料・・・運営主体が「指定管理」の場合、管理運営にかかる全ての経費が含まれているため、他施設との比較になじまない数値となっています。

(4) 利用状況等に関するグラフ

各施設の年間の利用者（入所者等含む）を整理し、施設用途に応じてグラフで表示しています。なお、学校や幼稚園など利用者が限られる施設は、園児数、児童数や生徒数で整理しています。また、利用者のない又は集計が困難な施設については、当該項目を除いています。

項目	内容
面積あたりの支出（円/㎡）	支出（円単位）を延床面積で除して算出しています。
面積あたり1日平均利用者数（人/㎡）	年間延べ利用者数を開館日数等で除した「1日平均利用者数」を延床面積（運動場については敷地面積）で除して算出しています。
面積あたり園児数・児童数・生徒数（人/㎡）	園児数・児童数・生徒数を延床面積で除して算出しています。
入居率（％）	入居戸数を入居可能戸数で除して算出しています。
利用者1人当たり支出（人/円）	支出を利用者で除して算出しています。
市民1人当たり負担額（人/円）	支出を人口34,273人（平成26年3月31日現在人口）で除して算出しています。

※その他施設用途に応じて必要な項目を算出しています。ただし、倉庫・物置のみの施設等は対象外としています。

第1節 市民文化系施設

(1) 配置状況

文化施設は2施設、建物数は4棟、延床面積は5,423㎡あります。集会施設は地区の公民館など13施設を保有し、建物数は24棟、延床面積は12,257㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	文化施設	㊦市民会館	2,714	昭和52年 (1977年)	3
2	〃	㊦文化会館・白羽公民館	2,709	昭和60年 (1985年)	1
3	集会施設	御前崎公民館	857	昭和49年 (1974年)	1
4	〃	佐倉公民館	1,464	平成20年 (2008年)	1
5	〃	比木公民館	1,716	平成18年 (2006年)	6
6	〃	池新田公民館	1,497	平成16年 (2004年)	2
7	〃	高松公民館	1,314	平成15年 (2003年)	3
8	〃	新野公民館	1,508	平成14年 (2002年)	2

9	集会施設	朝比奈公民館	1,800	平成15年 (2003年)	3
10	〃	㊦下岬コミュニティ 防災センター	470	平成12年 (2000年)	1
11	〃	㊦女岩区コミュニティ 防災センター	272	平成20年 (2008年)	1
12	〃	㊦新谷区コミュニティ 防災センター	393	平成24年 (2012年)	1
13	〃	㊦白浜コミュニティ 防災センター	447	平成10年 (1998年)	1
14	〃	㊦西側やすらぎセンター	257	平成14年 (2002年)	1
15	〃	㊦薄原いきいきセンター	262	平成15年 (2003年)	1

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

文化施設では市民会館の1棟が、集会施設では御前崎、朝比奈公民館の2棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積（㎡）
㊦市民会館	市民会館	昭和52年 (1977年)	36年	2,496
御前崎公民館	御前崎公民館	昭和49年 (1974年)	39年	857
朝比奈公民館	朝比奈公民館	昭和49年 (1974年)	39年	500

②管理運営経費

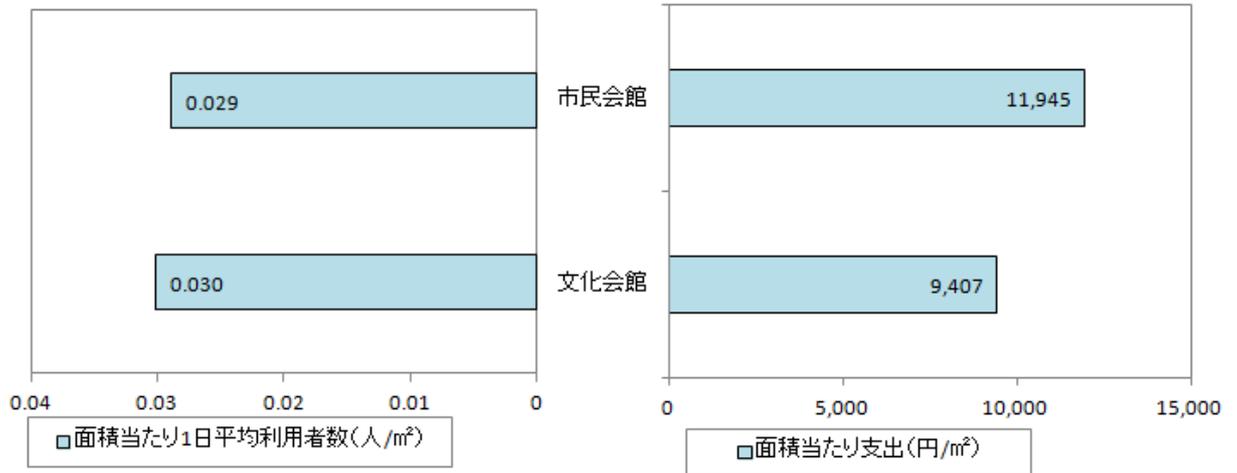
○管理運営経費の状況

	分類	施設名称	平成 25 年度		年間利用人数
			収入 (千円)	支出 (千円)	開館日数
1	文化施設	㊦市民会館	3,221	32,420	22,132
					282
2	"	㊦文化会館・白羽公民館※	1,125	23,481	23,304
					310
3	集会施設	御前崎公民館	603	16,030	13,577
					353
4	"	佐倉公民館	441	18,201	32,377
					357
5	"	比木公民館	600	27,650	26,399
					356
6	"	池新田公民館	89	19,443	48,264
					359
7	"	高松公民館	441	19,564	26,680
					360
8	"	新野公民館	758	18,515	17,228
					353
9	"	朝比奈公民館	508	18,991	20,075
					353
10	"	㊦下岬コミュニティ 防災センター	0	343	-
					-
11	"	㊦女岩区コミュニティ 防災センター	0	343	-
					-
12	"	㊦新谷区コミュニティ 防災センター	0	343	-
					-
13	"	㊦白浜コミュニティ 防災センター	0	343	-
					-
14	"	㊦西側やすらぎセンター	0	602	4,000
					-
15	"	㊦薄原いきいきセンター	0	1,407	3,522
					-

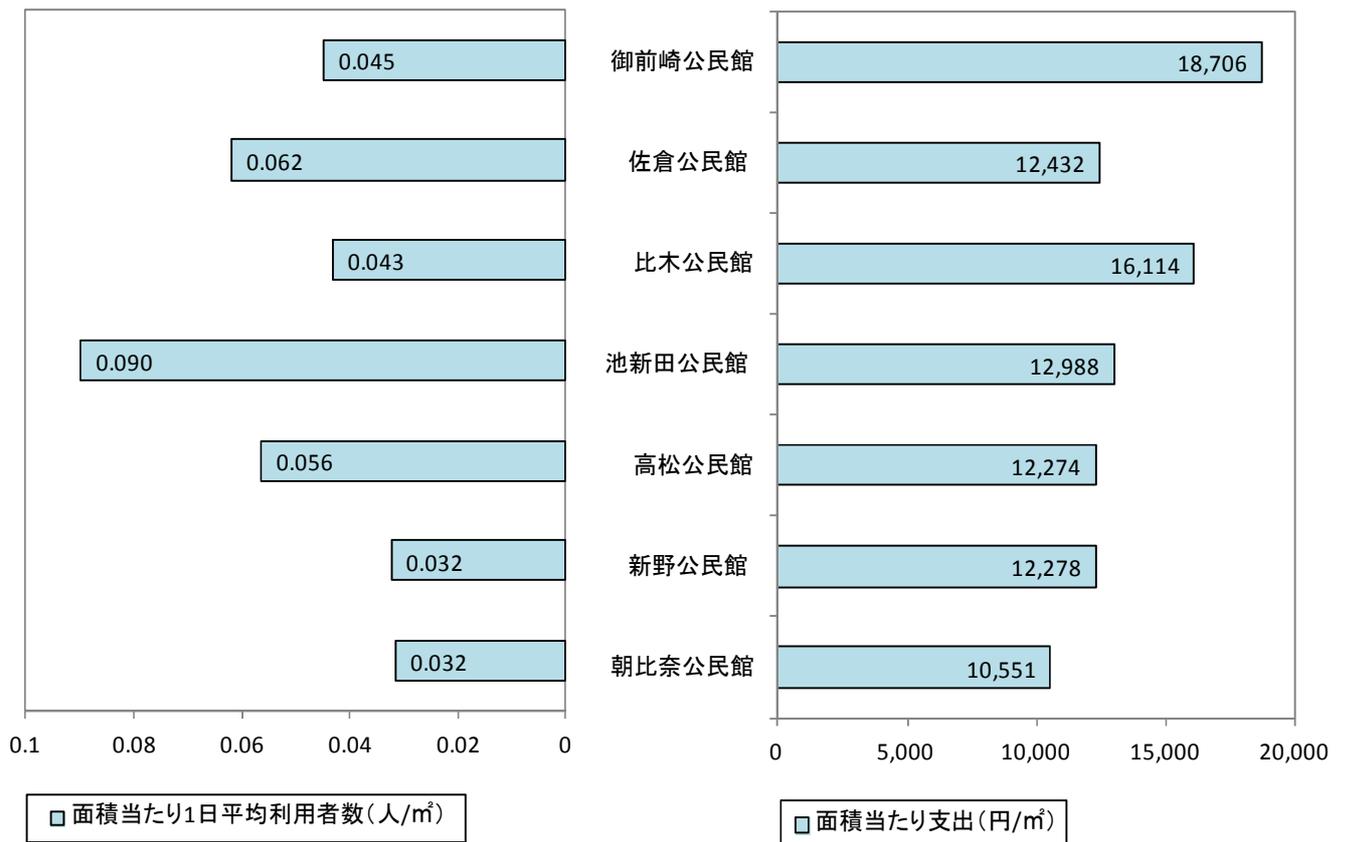
※白羽公民館は、平成26年3月31日まで文化会館内に設置。平成26年4月1日からは御前崎保健センターへ移転。

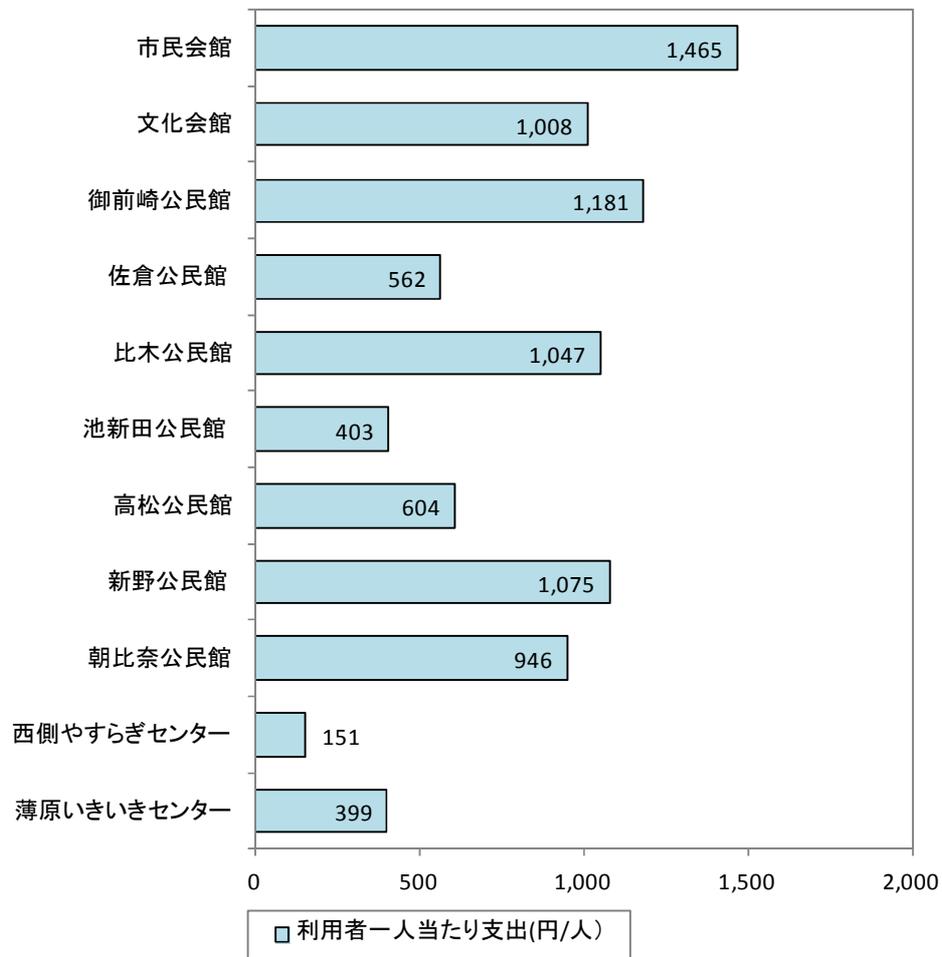
③利用状況等に関するグラフ

《文化施設》



《集会施設》





市民文化系施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

5,767円です。



市民会館



文化会館・白羽公民館



御前崎公民館



佐倉公民館



比木公民館



池新田公民館



高松公民館



新野公民館



朝比奈公民館



下岬区コミュニティ防災センター



女岩区コミュニティ防災センター



新谷区コミュニティ防災センター



白浜区コミュニティ防災センター



西側やすらぎセンター



薄原いきいきセンター

第2節 社会教育系施設

(1) 配置状況

図書館は1施設、建物数は2棟、延床面積は3,452㎡あります。博物館等は3施設を保有し、建物数は5棟、延床面積は1,225㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	図書館	市立図書館 (アスパル)	3,452	平成4年 (1992年)	2
2	博物館等	清川泰次芸術館	400	平成7年 (1995年)	1
3	〃	丸尾記念館	195	平成14年 (2002年)	2
4	〃	文化財整理室 (旧佐倉公民館)	630	昭和47年 (1972年)	2

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質 (建築から30年以上経過した建物 (棟))

社会教育施設では文化財整理室2棟が、建築後30年以上となっています。

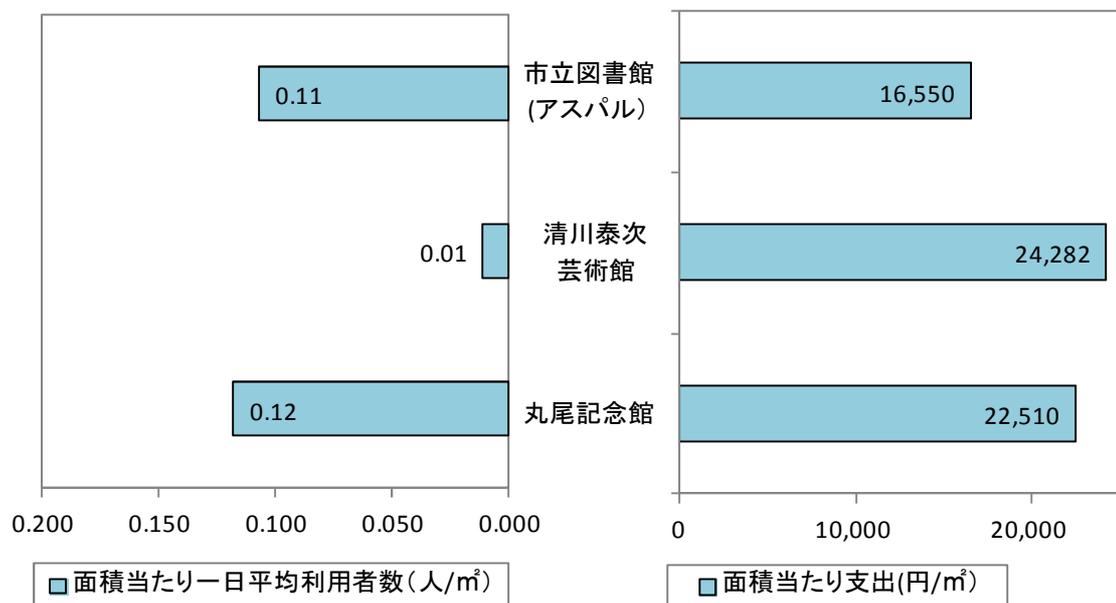
○築年数30年以上の建物一覧

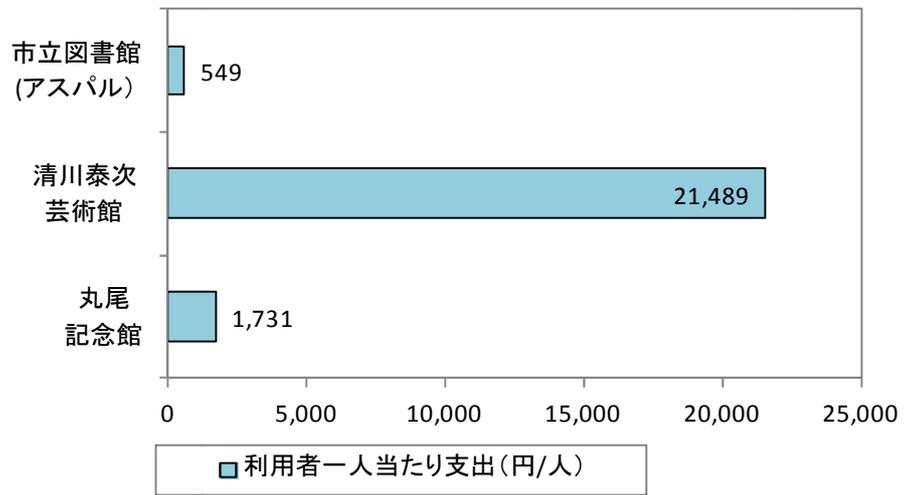
施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)
文化財整理室	文化財整理室①	昭和 47 年 (1972 年)	41年	610
文化財整理室	文化財整理室②	昭和 55 年 (1980 年)	33年	20

②管理運営経費

	分類	施設名称	平成 25 年度		年間利用人数
			収入 (千円)	支出 (千円)	開館日数
1	図書館	市立図書館 (アスパル)	72	57,129	104,121
					281
2	博物館等	清川泰次芸術館	0	9,712	452
					102
3	"	丸尾記念館	0	4,389	2,536
					110
4	"	文化財整理室 (旧佐倉公民館)	0	2,636	-
					-

③利用状況等に関するグラフ





社会教育施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は
2,155円です。



市立図書館 (アスパル)



清川泰次芸術館



丸尾記念館



文化財整理室 (旧佐倉公民館)

第3節 学校教育系施設

(1) 配置状況

学校は6施設、建物数は57棟、延床面積は43,544㎡あります。その他教育施設は学校給食センター2施設を保有し、建物数は7棟、延床面積は2,390㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	学校	御前崎小学校	5,548	平成16年 (2004年)	8
2	〃	白羽小学校	5,785	昭和54年 (1979年)	10
3	〃	浜岡東小学校	6,319	昭和50年 (1975年)	11
4	〃	第一小学校	9,116	昭和63年 (1988年)	9
5	〃	浜岡北小学校	5,015	昭和52年 (1977年)	6
6	〃	浜岡中学校	11,761	昭和33年 (1958年)	13
7	その他 教育系施設	御前崎学校給食センター	969	昭和57年 (1982年)	2
8	〃	浜岡学校給食センター	1,421	昭和58年 (1983年)	5

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

学校では小学校は26棟、中学校は8棟、その他教育系施設の5棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積（㎡）
御前崎小学校	管理教室棟	昭和 55 年 (1980 年)	33年	1,618
	体育器具室	昭和 55 年 (1980 年)	33年	70
	機械室（南）	昭和 55 年 (1980 年)	33年	33
白羽小学校	管理教室棟	昭和 54 年 (1979)	34年	2,404
	渡り廊下（西）	昭和 54 年 (1979 年)	34年	142
	昇降口	昭和 54 年 (1979 年)	34年	160
	機械室（東）	昭和 54 年 (1979 年)	34年	12
	体育器具室	昭和 54 年 (1979 年)	34年	50
浜岡東小学校	A 棟（教室棟）北棟	昭和 50 年 (1975 年)	38年	2,244
	B 棟（管理棟）南棟	昭和 50 年 (1975 年)	38年	991
	D 棟（体育器具庫）	昭和 50 年 (1975 年)	38年	64
	E 棟（プロパン庫）	昭和 50 年 (1975 年)	38年	5
	体育館	昭和 51 年 (1976 年)	37年	857
	プール便所・更衣室・器具庫	昭和 54 年 (1979 年)	34年	60
	校舎増築（北棟）	昭和 58 年 (1983 年)	30年	1,041
	校舎増築（南棟）	昭和 58 年 (1983 年)	30年	544
第一小学校	体育器具室（第一グラウンド）	昭和 51 年 (1976 年)	37年	35
	体育館・格技場	昭和 52 年 (1977 年)	36年	1,120

	プール便所・更衣室・器具庫	昭和 54 年 (1979 年)	34年	64
	校舎（南棟）	昭和 54 年 (1979 年)	34年	2,029
	校舎（南校舎）	昭和 57 年 (1982 年)	31年	1,063
浜岡北小学校	用務員住宅	昭和 52 年 (1977 年)	36年	44
	体育館	昭和 53 年 (1978 年)	35年	879
	南棟	昭和 52 年 (1977 年)	36年	1,166
	北棟	昭和 52 年 (1977 年)	36年	2,302
	体育器具庫	昭和 52 年 (1977 年)	36年	90
浜岡中学校	教室棟	昭和 32 年 (1957 年)	56年	2,083
	教室棟（管理教室棟）	昭和 33 年 (1958 年)	55年	2,379
	給食受室	昭和 32 年 (1957 年)	56年	89
	体育館（講堂）	昭和 37 年 (1962 年)	51年	810
	技術棟	昭和 57 年 (1982 年)	31年	790
	部室棟（北）	昭和 57 年 (1982 年)	31年	96
	部室棟（南）	昭和 57 年 (1982 年)	31年	240
	特別教室棟	昭和 57 年 (1982 年)	31年	2,052
御前崎 学校給食センター	調理場	昭和 57 年 (1982 年)	31年	892
	機械室	昭和 57 年 (1982 年)	31年	77
浜岡 学校給食センター	給食センター本棟	昭和 58 年 (1983 年)	30年	1,234
	汚水処理棟	昭和 58 年 (1983 年)	30年	67
	付属棟（機械室）	昭和 58 年 (1983 年)	30年	66

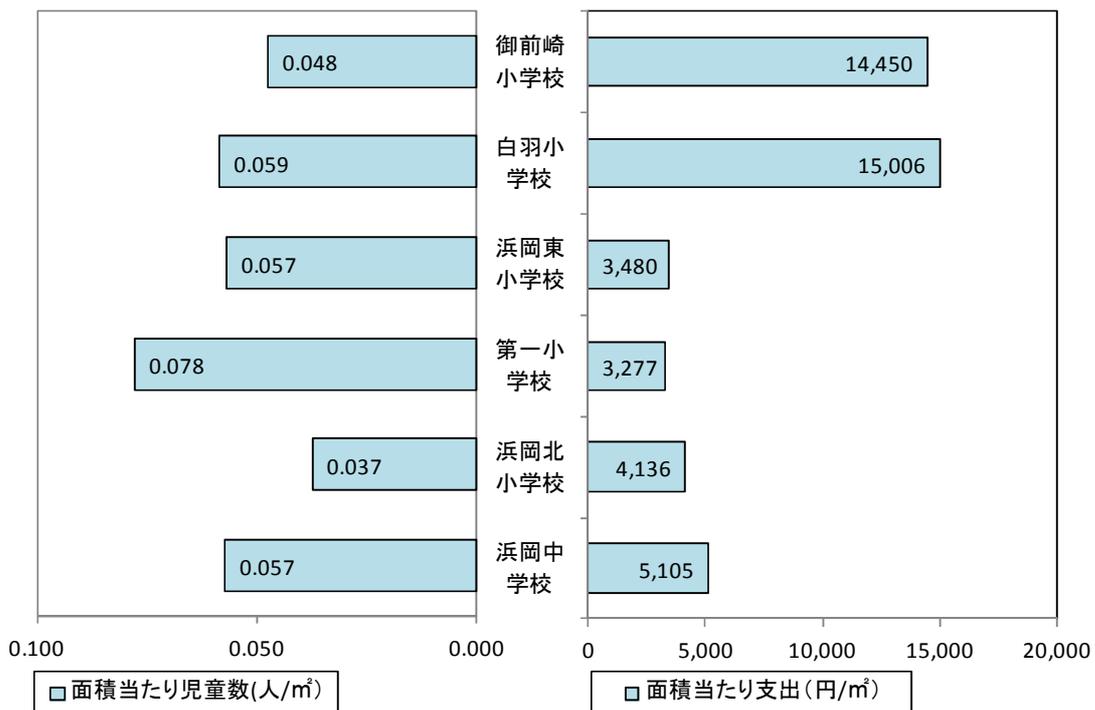
②管理運営経費

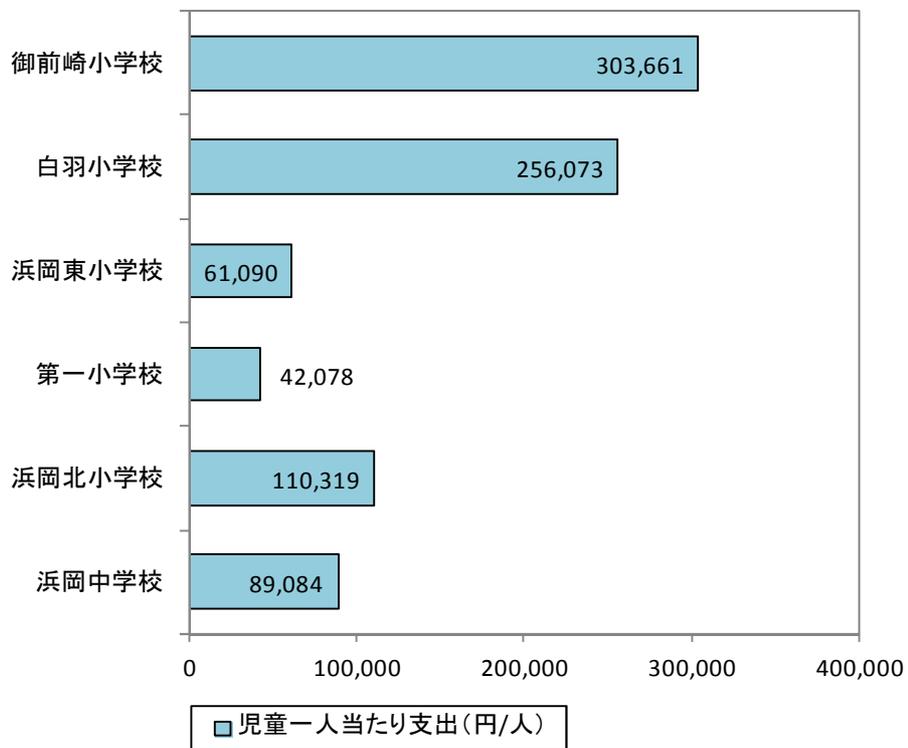
○管理運営経費の状況

	分類	施設名称	平成25年度		児童数(人)
			収入(千円)	支出(千円)	
1	学校	御前崎小学校	5	80,166	264
2	"	白羽小学校	89	86,808	339
3	"	浜岡東小学校	148	21,992	360
4	"	第一小学校	216	29,875	710
5	"	浜岡北小学校	175	20,739	188
6	"	浜岡中学校	228	60,042	674
7	その他 教育系施設	御前崎学校給食センター	0	43,033	-
8	"	浜岡学校給食センター	0	51,527	-

※御前崎小学校管理棟耐震補強工事費(58,032千円)及び、白羽小学校管理棟耐震補強工事費を(66,636千円)含みます。

③利用状況等に関するグラフ





学校教育系施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

11,501円です。



御前崎小学校



白羽小学校



浜岡東小学校



第一小学校



浜岡北小学校



浜岡中学校



御前崎学校給食センター



浜岡学校給食センター



第4節 スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 配置状況

スポーツ施設は、5施設、建物数は16棟、延床面積は9,369㎡あります。レクリエーション・観光施設は4施設を保有し、建物数は13棟、延床面積は2,828㎡あります



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	スポーツ施設	⊕市民プール ぷるる	5,102	平成9年 (1997年)	2
2	〃	⊕B & G 海洋センター	2,704	平成6年 (1994年)	2
3	〃	⊕御前崎運動場	152	昭和52年 (1977年)	3
4	〃	⊕浜岡総合運動場	1,311	平成元年 (1989年)	7
5	〃	弓道場	100	昭和54年 (1979年)	2
6	レクリエーション ・観光施設	観光物産会館	1,414	平成5年 (1993年)	2
7	〃	⊕観光情報館	14	平成26年 (2014年)	1
8	〃	⊕渚の交番	274	平成26年 (2014年)	2
9	〃	⊕道の駅 風のマルシェ	1,126	平成26年 (2014年)	8

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

スポーツ施設では、御前崎運動場が1棟、弓道場は1棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積（㎡）
御前崎運動場	管理棟	昭和52年 (1977年)	36年	103
弓道場	弓道場	昭和54年 (1979年)	34年	97

②管理運営経費

	分類	施設名称	平成25年度		年間利用人数
			収入（千円）	支出（千円）	開館日数
1	スポーツ施設	⑤市民プール ぷるる	64,786	194,060	175,943
					306
2	"	⑤B & G海洋センター	1,999	17,329	32,668
					305
3	"	⑤御前崎運動場	2,189	12,956	44,850
					300
4	"	⑤浜岡総合運動場	3,972	34,213	146,939
					307
5	"	弓道場	0	53	3,000
					300
6	レクリエーション・観光施設	観光物産会館	367	7,693	9,114
					313

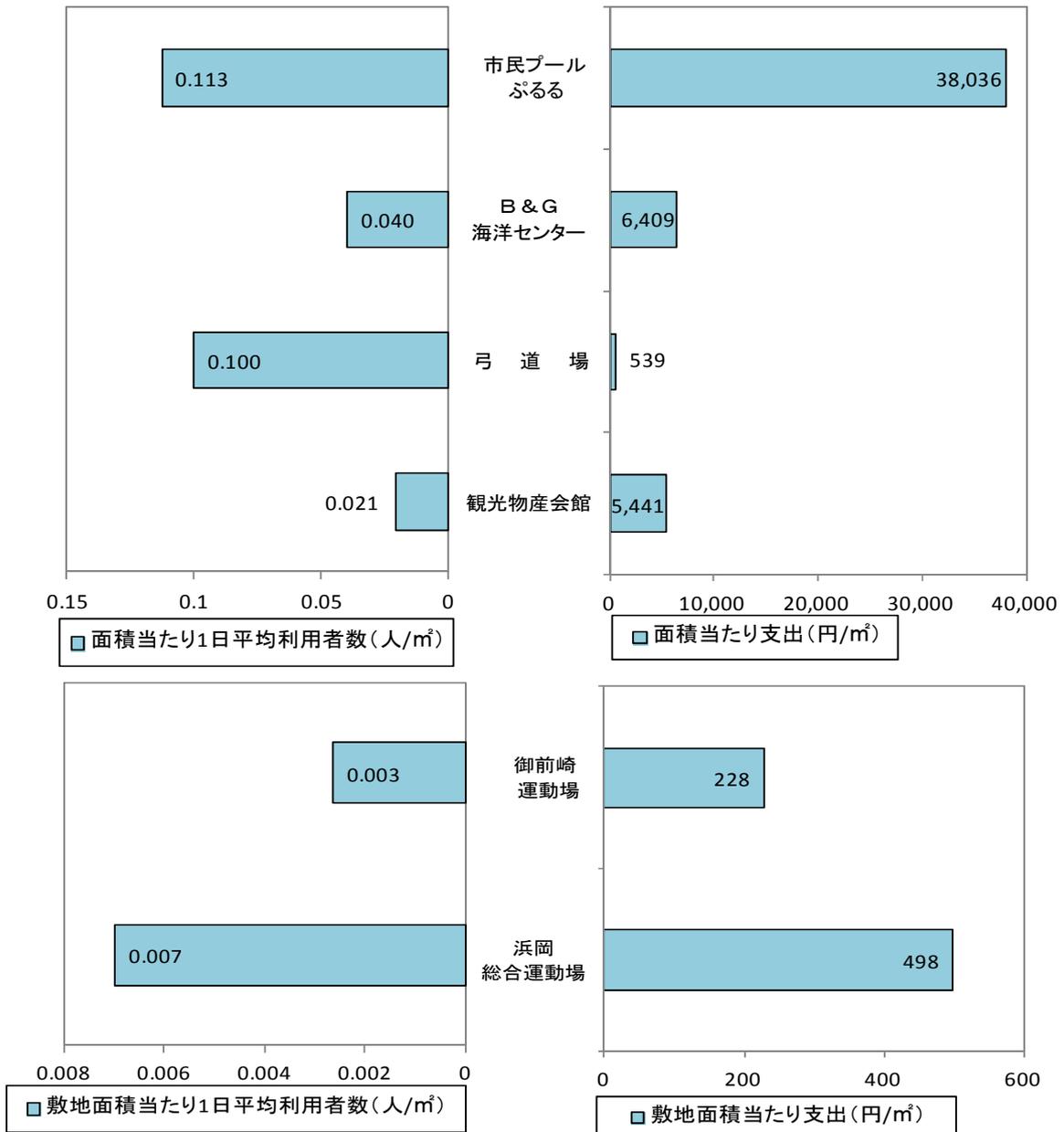
※観光情報館、渚の交番、道の駅風のマルシェについては、平成26年度より事業開始の為、上記に含めておりません。

スポーツ・レクリエーション系施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

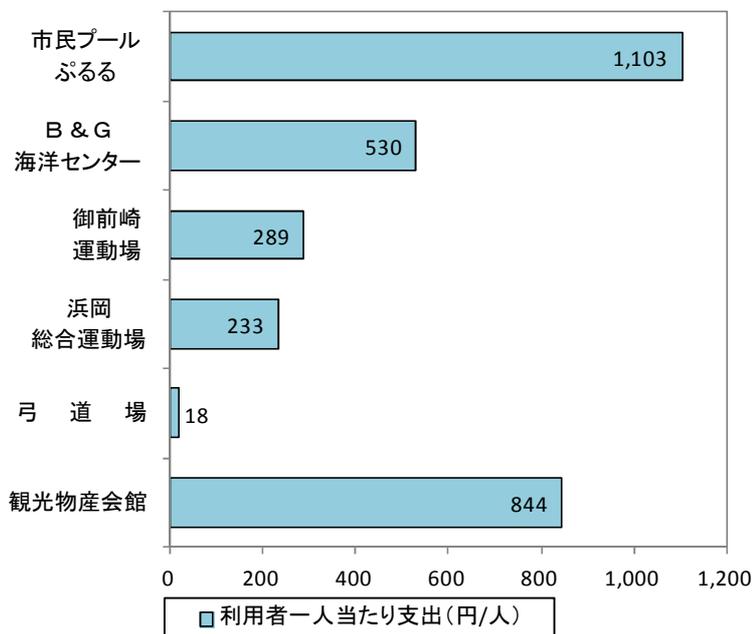
7,770円です。



③利用状況等に関するグラフ



※敷地面積：御前崎運動場 56,898㎡ 浜岡総合運動場 68,678㎡





市民プール ぷるる



B & G海洋センター



御前崎運動場



浜岡総合運動場



弓道場



観光物産会館



観光情報館・渚の交番



道の駅 風のマルシェ

第5節 子育て支援施設

(1) 配置状況

幼稚園・保育園・こども園は9施設、建物数は32棟、延床面積は12,969㎡あります。幼児・児童施設は4施設を保有し、建物数は9棟、延床面積は2,088㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	幼稚園・保育園 こども園	池新田幼稚園	1,961	平成9年 (1997年)	6
2	〃	高松幼稚園	1,106	平成20年 (2008年)	3
3	〃	さくらこども園	3,540	平成15年 (2003年)	4
4	〃	白羽幼稚園	1,384	平成17年 (2005年)	4
5	〃	御前崎幼稚園	1,066	平成17年 (2005年)	3
6	〃	北こども園	1,161	平成20年 (2008年)	2
7	〃	浜岡保育園	1,181	昭和60年 (1985年)	4
8	〃	御前崎保育園	745	平成元年 (1989年)	2

9	幼稚園・保育園 こども園	白羽保育園	825	平成2年 (1990年)	4
10	幼児 ・児童施設	新野こどもの里	1,185	平成23年 (2011年)	6
11	〃	御小放課後児童クラブ	219	昭和58年 (1983年)	1
12	〃	第一小放課後児童クラブ	189	平成24年 (2012年)	1
13	〃	児童館	495	昭和57年 (1982年)	1

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

幼児・児童施設は4棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)
新野 こどもの里	新野こどもの里①	昭和 53 年 (1978 年)	35 年	539
	新野こどもの里②	昭和 53 年 (1978 年)	35年	20
御小放課後児童 クラブ	御小放課後児童クラブ	昭和58年 (1983年)	30年	219
児童館	児童館	昭和57年 (1982年)	31年	495

②管理運営経費

	分類	施設名	平成 25 年度		児童数 利用人数
			収入 (千円)	支出 (千円)	
1	幼稚園・保育園・こども園	池新田幼稚園	7,914	21,684	151
2	〃	高松幼稚園	4,113	2,982	74
3	〃	さくらこども園	24,402	10,110	183
4	〃	白羽幼稚園	3,891	2,873	73
5	〃	御前崎幼稚園	3,184	8,589	60
6	〃	北こども園	3,549	10,177	81
7	〃	浜岡保育園	26,013	12,333	120

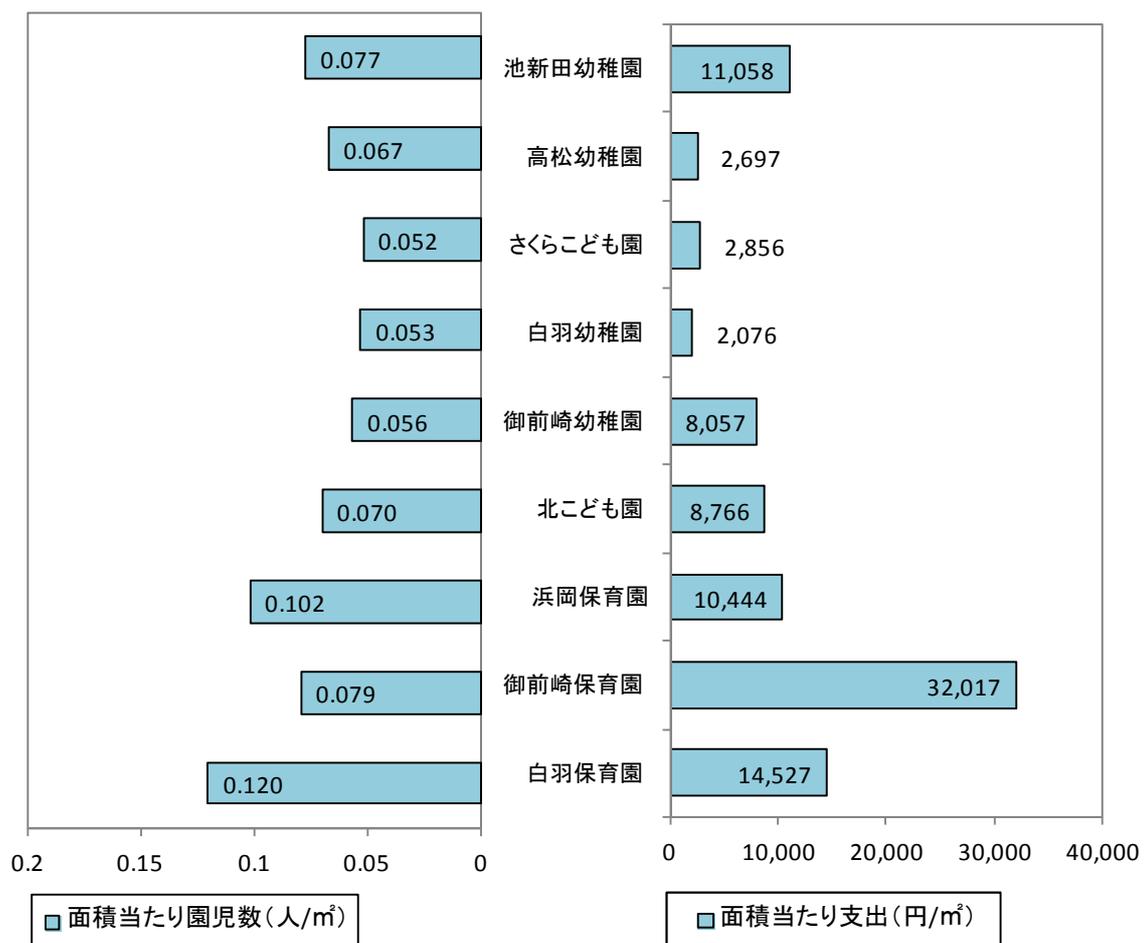
8	〃	御前崎保育園	13,367	23,852	59
9	〃	白羽保育園	22,564	11,984	99

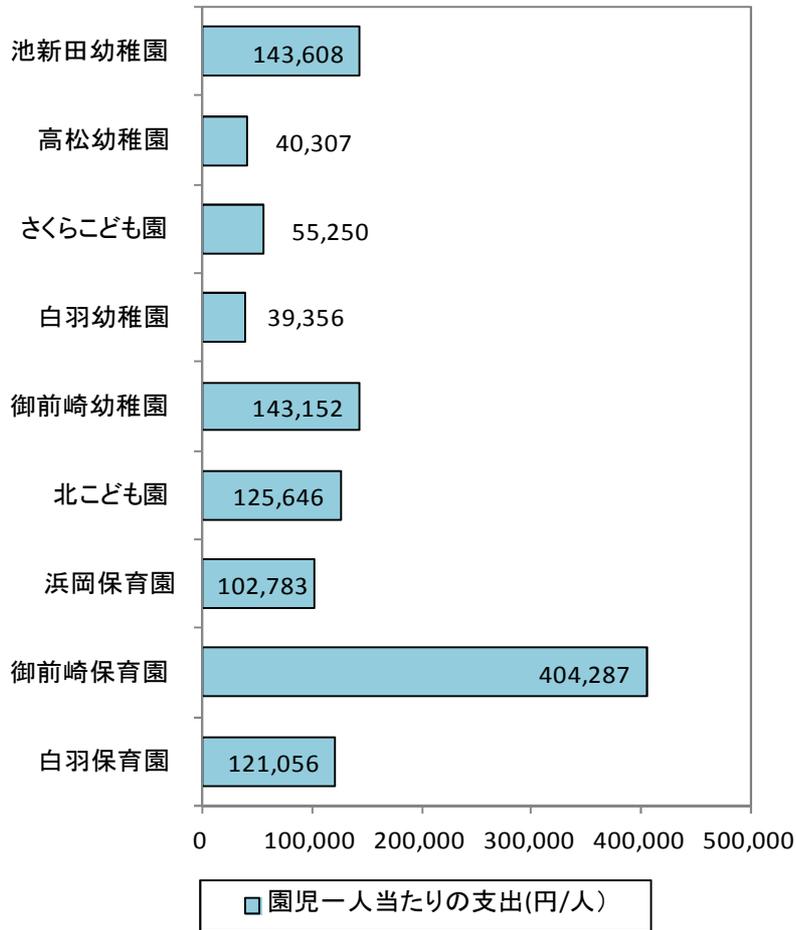
	分類	施設名	平成25年度		児童数 利用人数	開館日数
			収入(千円)	支出(千円)		
1	幼児・ 児童施設	新野こどもの里	1,841	5,532	7,110	255
2	〃	御小放課後児童 クラブ	1,579	3,955	217	252
3	〃	第一小放課後 児童クラブ	3,138	3,949	419	252
4	〃	児童館	0	13,022	20,411	248

※御前崎保育園外壁塗装及び屋根防水工事費(12,075千円)を含みます。

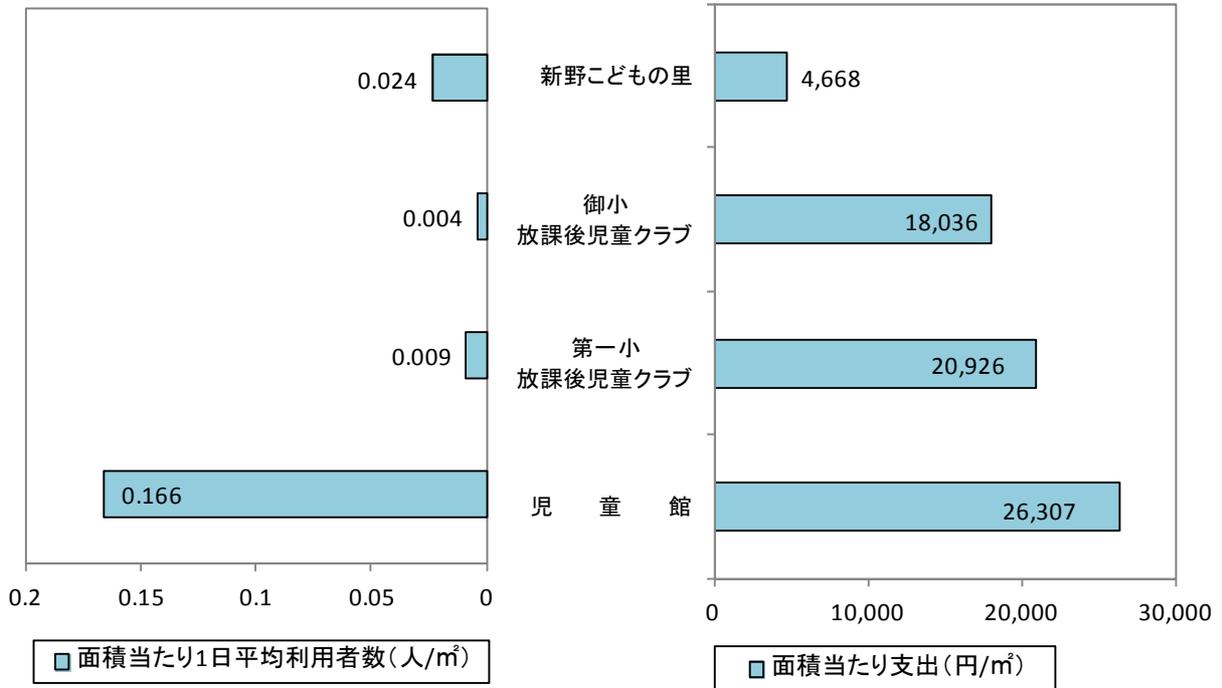
③利用状況等に関するグラフ

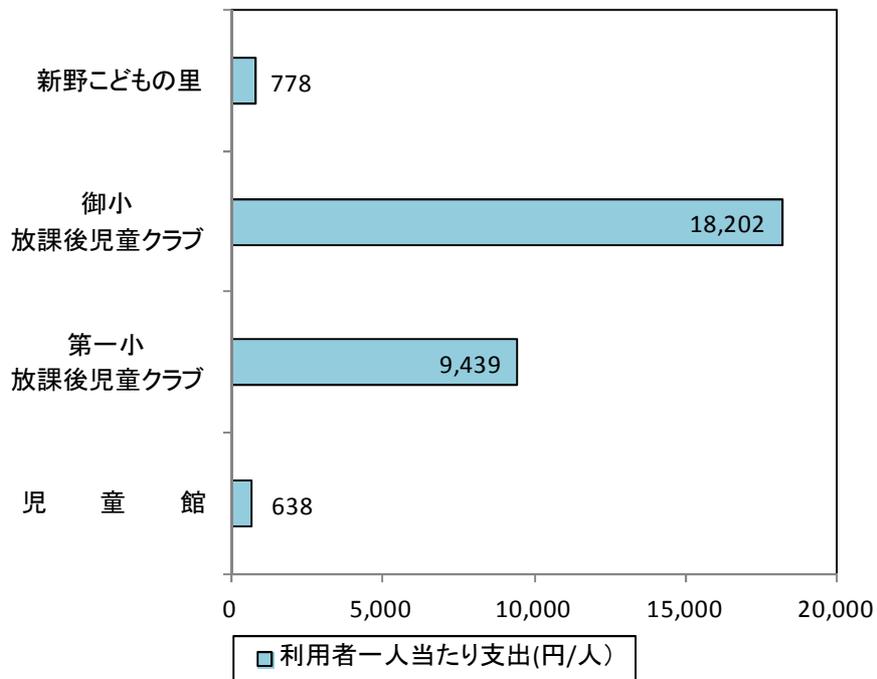
《幼稚園・保育園・こども園》





《幼児・児童施設》





子育て支援施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

3,823円です。



池新田幼稚園



高松幼稚園



さくらこども園



白羽幼稚園



御前崎幼稚園



北こども園



浜岡保育園



御前崎保育園



白羽保育園



新野こどもの里



御小放課後児童クラブ



第一小放課後児童クラブ



児童館

第6節 福祉・保健施設

(1) 配置状況

高齢者福祉施設は2施設、建物数は2棟、延床面積は1,640㎡あります。保健施設は3施設を保有し、建物数は3棟、延床面積は8,440㎡あります。障がい福祉施設は2施設を保有し、建物数は2棟、延床面積は445㎡あります。その他社会福祉施設は2施設を保有し、建物数は7棟、延床面積は2,827㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	高齢者 福祉施設	㊦池新田デイサービスセンター	823	平成5年 (1993年)	1
2	〃	㊦佐倉デイサービスセンター	817	平成12年 (2000年)	1
3	保健施設	総合保健福祉センター	6,769	平成12年 (2000年)	1
4	〃	浜岡健康センター	884	昭和61年 (1986年)	1
5	〃	御前崎保健センター (H26～白羽公民館)	787	平成2年 (1990年)	1
6	障がい福祉施設	㊦御前崎つばき作業所	208	平成21年 (2009年)	1

7	〃	障がい児放課後児童クラブ※ 日中活動支援施設御前崎作業所	237	昭和59年 (1984年)	1
8	その他社会福祉施設	㊦浜岡老人福祉センター	1,312	昭和57年 (1982年)	6
9	〃	㊦御前崎ふれあい福祉センター	1,515	平成14年 (2002年)	1

※障がい児放課後児童クラブについては、平成26年3月末で終了しています。

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

その他社会福祉施設では1棟が、建築後30年以上となっています。

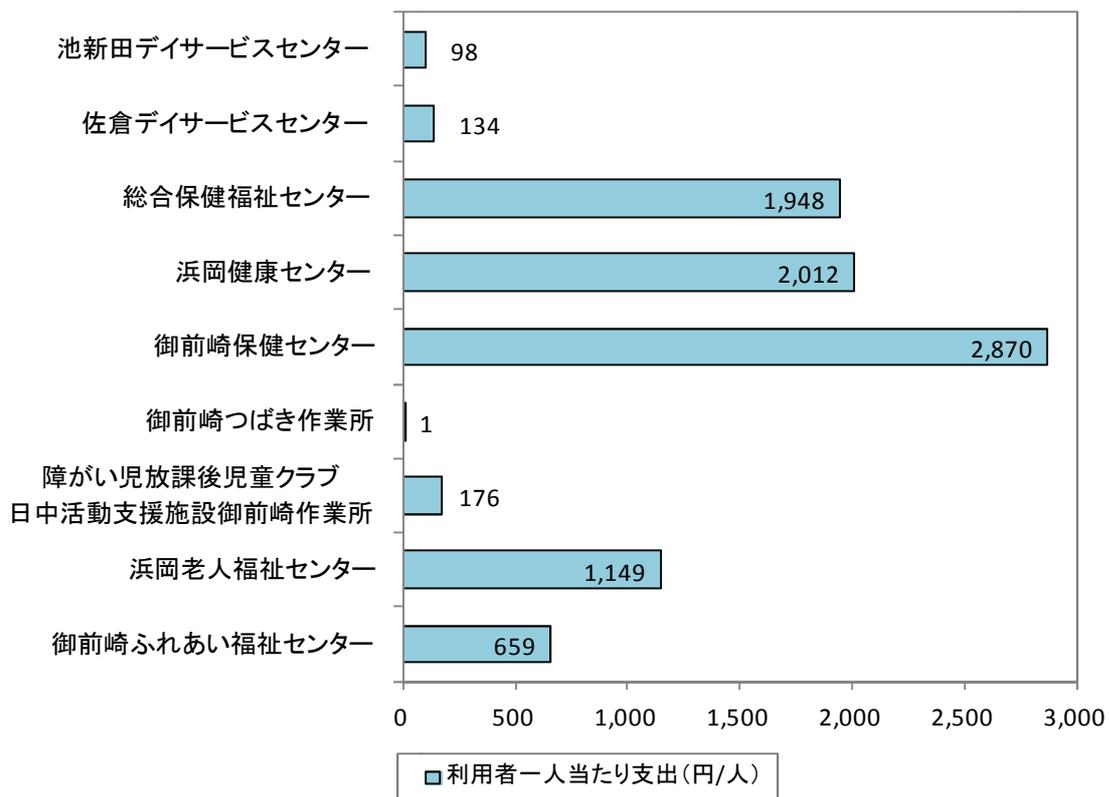
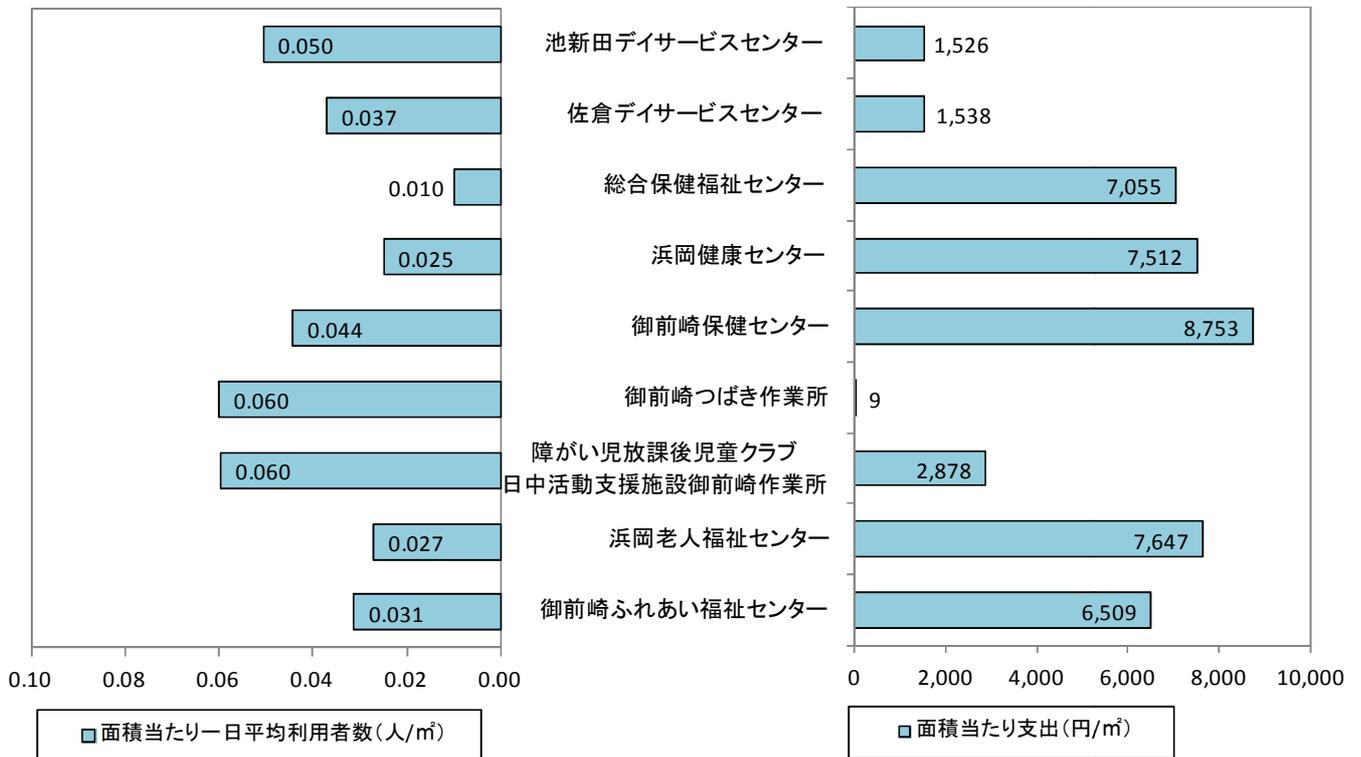
○築年数30年以上の建物一覧

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延面積（㎡）
㊦浜岡老人福祉センター	浜岡老人福祉センター	昭和57年 (1982年)	31年	1,330

②管理運営経費

	施設名称	平成25年度		年間利用人数
		収入（千円）	支出（千円）	開館日数
1	㊦池新田デイサービスセンター	0	1,256	12,876
				310
2	㊦佐倉デイサービスセンター	0	1,256	9,358
				310
3	総合保健福祉センター	0	47,752	24,518
				365
4	浜岡健康センター	0	6,641	3,300
				150
5	御前崎保健センター (H26.4.1～白羽公民館)	0	6,888	2,400
				69
6	㊦御前崎つばき作業所	0	1	3,327
				267
7	障がい児放課後児童クラブ 日中活動支援施設御前崎作業所	0	685	3,881
				274
8	㊦浜岡老人福祉センター	7	12,465	10,852
				247
9	㊦御前崎ふれあい福祉センター	0	9,861	14,972
				317

③利用状況等に関するグラフ



福祉・保健施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

2,532円です。





池新田デイサービスセンター



佐倉デイサービスセンター



総合保健福祉センター



浜岡健康センター



御前崎保健センター (H26.4.1～白羽公民館)



御前崎つばき作業場



障がい児放課後児童クラブ
日中活動支援施設 御前崎作業所



浜岡老人福祉センター



御前崎ふれあい福祉センター

第7節 行政系施設

(1) 配置状況

庁舎等は、市役所本庁舎、教育会館の2施設を保有し、建物数は5棟、延床面積は10,286㎡あります。
 消防系施設は、24施設を保有し、建物数は29棟、延床面積は4,797㎡あります。



○施設一覽
(行政系施設)

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	庁舎等	御前崎市役所	6,864	昭和56年 (1981年)	3
2	〃	御前崎支所・教育会館	3,421	昭和59年 (1984年)	2

(消防系施設)

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	消防庁舎	御前崎市消防庁舎	2,416	平成4年 (1992年)	5
2	消防団詰所等	第1分団第2部詰所	86	平成16年 (2004年)	1
3	〃	第1分団第3部詰所	75	平成11年 (1999年)	1
4	〃	第2分団詰所	120	平成9年 (1997年)	1
5	〃	第3分団詰所	122	平成14年 (2002年)	1
6	〃	第4分団詰所	122	平成16年 (2004年)	1
7	〃	第5分団詰所	120	平成8年 (1996年)	1
8	〃	第6分団詰所	122	平成11年 (1999年)	1
9	〃	第7分団詰所	117	平成5年 (1993年)	1
10	〃	第8分団詰所	185	平成18年 (2006年)	1
11	〃	第9分団詰所	185	平成22年 (2010年)	1
12	〃	第10分団第1部詰所	56	平成2年 (1990年)	1
13	〃	第10分団第2部詰所	71	平成5年 (1993年)	1
14	〃	第11分団第1部詰所	56	平成2年 (1990年)	1
15	〃	第11分団第2部詰所	71	平成8年 (1996年)	1

16	〃	防災課倉庫①	71	平成8年 (1996年)	1
17	〃	防災課倉庫②	56	平成2年 (1990年)	1
18	地区防災倉庫	新神子区防災倉庫	49	平成2年 (1990年)	2
19	〃	白浜区防災倉庫	71	平成5年 (1993年)	1
20	〃	白羽区防災倉庫	111	昭和57年 (1982年)	1
21	〃	中原区防災倉庫	71	平成13年 (2001年)	1
22	〃	新谷区防災倉庫	71	平成8年 (1996年)	1
23	〃	朝比奈原防災倉庫	100	平成8年 (1996年)	1
24	〃	白羽防災倉庫	273	平成16年 (2004年)	1

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

庁舎等では、市役所庁舎の2棟、白羽区防災倉庫の棟が建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧（行政系施設）

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積（㎡）
御前崎市役所	庁舎	昭和56年 (1981年)	32年	6,510
	市長車等車庫兼東自転車置場	昭和56年 (1981年)	32年	273

○築年数30年以上の建物一覧（消防系施設）

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積（㎡）
白羽区 防災倉庫	白羽区防災倉庫	昭和57年 (1982年)	31年	111

②管理運営経費

○管理運営経費の状況（行政系施設）

	分類	施設名称	平成25年度	
			収入（千円）	支出（千円）
1	庁舎等	御前崎市役所	372	111,149
2	〃	御前崎支所・教育会館	149	23,556

○管理運営経費の状況（消防系施設）

	分類	施設名	平成 25 年度	
			収入（千円）	支出（千円）
1	消防施設	御前崎市消防庁舎	0	7,497
2	消防団 詰所	第1分団第2部詰所	0	350
3	〃	第1分団第3部詰所	0	94
4	〃	第2分団詰所	0	464
5	〃	第3分団詰所	0	104
6	〃	第4分団詰所	0	524
7	〃	第5分団詰所	0	353
8	〃	第6分団詰所	0	426
9	〃	第7分団詰所	0	468
10	〃	第8分団詰所	0	498
11	〃	第9分団詰所	0	650
12	〃	第10分団第1部詰所	0	63
13	〃	第10分団第2部詰所	0	112

14	〃	第11分団第1部詰所	0	85
15	〃	第11分団第2部詰所	0	119
16	〃	防災課倉庫①	0	95
17	〃	防災課倉庫②	0	83
18	防災倉庫	新神子区防災倉庫	0	35
19	〃	白浜区防災倉庫	0	34
20	〃	白羽区防災倉庫	0	69
21	〃	中原区防災倉庫	0	55
22	〃	新谷区防災倉庫	0	76
23	〃	朝比奈原防災倉庫	0	34
24	〃	白羽防災倉庫	0	35

行政系施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

4,289円です。





御前崎市役所



御前崎支所・教育会館



御前崎市消防庁舎



第1分団第2部詰所



第1分団第3部詰所



第2分団詰所



第3分団詰所



第4分団詰所



第5分団詰所



第6分団詰所



第7分団詰所



第8分団詰所



第9分団詰所



第10分団第1部詰所



第10分団第2部詰所



第11分団第1部詰所



第11分団第2部詰所



防災倉庫①



防災倉庫②



新神子区防災倉庫



白浜区防災倉庫



白羽区防災倉庫



中原区防災倉庫



新谷区防災倉庫



朝比奈原防災倉庫



白羽防災倉庫

第8節 公営住宅

(1) 配置状況

公営住宅は10施設、建物数は32棟、延床面積は21,187㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	公営住宅	中町団地	353	平成8年 (1996年)	3
2	〃	池新田大山団地	3,344	平成15年 (2003年)	4
3	〃	八千代団地	5,401	平成3年 (1991年)	7
4	〃	塩原団地	266	平成5年 (1993年)	2
5	〃	朝比奈団地	2,330	平成11年 (1999年)	5
6	〃	新野団地	1,886	平成7年 (1995年)	3
7	〃	みさき住宅	1,215	平成元年 (1989年)	1
8	〃	広沢住宅	1,133	昭和53年 (1978年)	1

9	〃	白羽住宅	1,599	平成5年 (1993年)	2
10	〃	薄原住宅	3,660	昭和57年 (1982年)	4

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

公営住宅では4棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

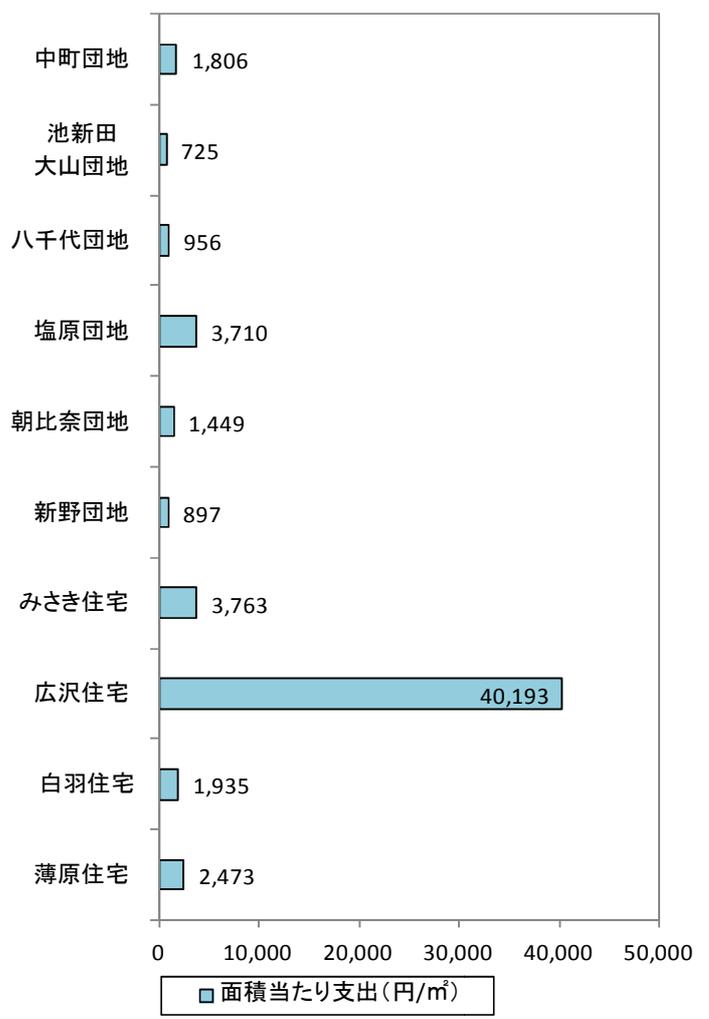
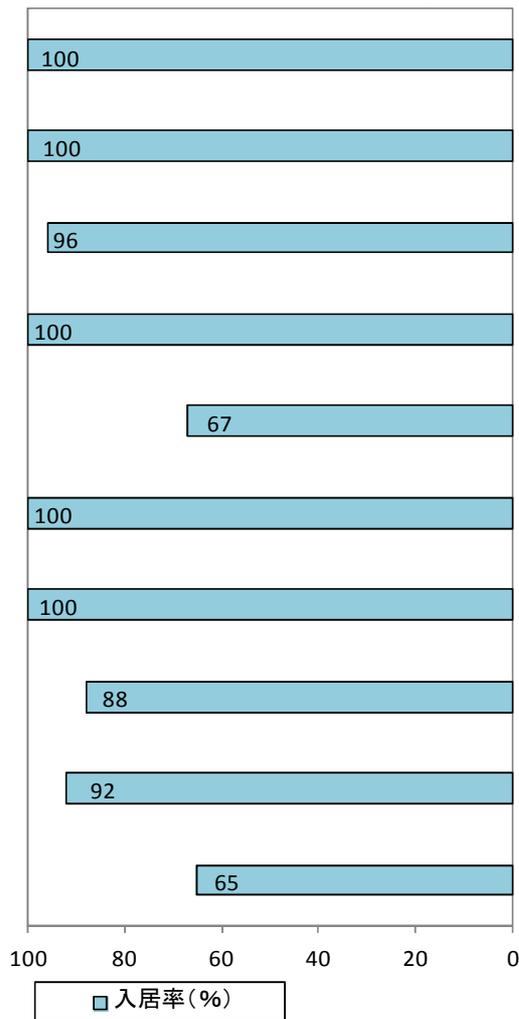
施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)
薄原住宅	薄原住宅1	昭和58年 (1983年)	30年	1,506
薄原住宅	薄原住宅2	昭和57年 (1982年)	31年	753
薄原住宅	集会室・污水处理施設	昭和57年 (1982年)	31年	70
広沢住宅	広沢住宅北	昭和53年 (1978年)	35年	1,044

②管理運営経費

	施設名	平成25年度		入居率 (%)
		収入 (千円)	支出 (千円)	
1	中町団地	1,386	637	100
2	池新田大山団地	13,753	2,424	100
3	八千代団地	16,124	5,163	96
4	塩原団地	975	986	100
5	朝比奈団地	10,104	3,376	67
6	新野団地	7,269	1,692	100
7	みさき住宅	4,081	4,572	100
8	広沢住宅	3,395	45,538	88
9	白羽住宅	6,481	3,093	92
10	薄原住宅	8,711	9,974	65

※広沢住宅北棟給排水設備工事（33,712千円）を含みます。

③利用状況等に関するグラフ



公営住宅の支出に対する
市民一人当たりの負担額は
2,259円です。



中町団地



池新田大山団地



八千代団地



塩原団地



朝比奈団地



新野団地



みさき住宅



広沢住宅



白羽住宅



薄原住宅

第9節 公園

(1) 配置状況

公園は17施設、建物数は38棟、延床面積は1,507㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	公園	八千代公園	35	昭和56年 (1981年)	1
2	〃	長者公園	7	平成11年 (1999年)	1
3	〃	神子公園	14	平成12年 (2000年)	1
4	〃	白砂公園	119	平成12年 (2000年)	4
5	〃	高松緑の森公園	111	平成10年 (1998年)	2
6	〃	桜ヶ池公園	45	平成4年 (1992年)	1
7	〃	おさ川ふれあい公園	93	平成16年 (2004年)	1
8	〃	比木自然公園	21	平成7年 (1995年)	1

9	〃	散歩道福田沢	8	平成25年 (2013)	1
10	〃	㊦あらさわふる里公園	727	平成10年 (1998年)	14
11	〃	新野水のめぐみ公園	15	平成21年 (2009年)	1
12	〃	おまえざき公園	15	平成9年 (1997年)	1
13	〃	下岬公園	38	昭和49年 (1974年)	1
14	〃	公儀山公園	26	平成13年 (2001年)	1
15	〃	大原公園	5	平成5年 (1993年)	1
16	〃	ケープパーク	50	平成5年 (1993年)	4
17	〃	マリンパーク	178	平成17年 (2005年)	2

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

公園では2棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積（㎡）
八千代公園	トイレ	昭和 56 年 (1981 年)	32年	35
下岬公園	トイレ	昭和 49 年 (1974 年)	39年	38

②管理運営経費

	分類	施設名	平成 25 年度	
			収入（千円）	支出（千円）
1	公園	八千代公園	0	5,038
2	〃	長者公園	0	804
3	〃	神子公園	0	1,229
4	〃	白砂公園	0	5,906

5	〃	高松緑の森公園	144	14,036
6	〃	桜ヶ池公園	0	1,293
7	〃	おさ川ふれあい公園	36	3,433
8	〃	比木自然公園	0	554
9	〃	散歩道福田沢	0	0
10	〃	㊦あらさわふる里公園	0	28,799
11	〃	新野水のめぐみ公園	0	881
12	〃	おまえざき公園	0	1,866
13	〃	下岬公園	0	708
14	〃	公儀山公園	0	1,823
15	〃	大原公園	0	1,148
16	〃	ケープパーク	0	1,117
17	〃	マリンパーク	23,497	31,746

公園の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

2,928円です。



第10節 その他

(1) 配置状況

その他施設は17施設、建物数は19棟、延床面積は2,137㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	倉庫	大山倉庫	162	平成10年 (1998年)	1
2	〃	高松倉庫	200	平成元年 (1989年)	1
3	〃	艇庫	197	平成13年 (2001年)	1
4	観光駐車場	日向子駐車場	111	平成14年 (2002年)	2
5	〃	元根駐車場	15	平成9年 (1997年)	1
6	〃	芹沢駐車場	57	平成15年 (2003年)	1
7	〃	広沢西駐車場	30	平成11年 (1999年)	1
8	〃	広沢東駐車場	25	平成6年 (1994年)	1

9	〃	薄原駐車場	67	平成15年 (2003年)	1
10	農業施設	上水神機場	29	平成15年 (2003年)	1
11	〃	門屋割機場	29	平成15年 (2003年)	1
12	〃	桜ヶ池畑かんポンプ 小屋	9	平成13年 (2001年)	1
13	〃	中比木揚水機場	15	平成9年 (1997年)	1
14	〃	下朝比奈機場	29	平成15年 (2003年)	1
15	〃	御用田機場	29	平成15年 (2003年)	1
16	その他	㊦御前崎CATV	918	平成12年 (2000年)	2
17	〃	シルバー人材センター	215	昭和54年 (1979年)	1

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

その他施設ではシルバー人材センター1棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積(m ²)
シルバー人材センター	シルバー人材センター	昭和54年 (1979年)	34年	215

②管理運営経費

	分類	施設名	平成25年度	
			収入(千円)	支出(千円)
1	倉庫	大山倉庫	0	7,645
2	〃	高松倉庫	0	34
3	〃	艇庫	0	2,371
4	観光駐車場	日向子駐車場	0	807
5	〃	元根駐車場	0	411

6	〃	芹沢駐車場	0	962
7	〃	広沢西駐車場	0	707
8	〃	広沢東駐車場	0	171
9	〃	薄原駐車場	0	173
10	農業施設	上水神機場	0	1,090
11	〃	門屋割機場	0	1,045
12	〃	桜ヶ池畑かんポンプ 小屋	0	554
13	〃	中比木揚水機場	0	2,218
14	〃	下朝比奈機場	0	732
15	〃	御用田機場	0	810
16	その他	㊦御前崎CATV	0	44,888
17	〃	シルバー人材センター	0	0

その他施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

1,885円です。



第1.1節 上水道施設

(1) 配置状況

上水道施設は6施設、建物数は17棟、延床面積は788㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	浄水場	佐倉浄水場	439	昭和39年 (1964年)	9
2	配水池	大兼配水池	20	昭和60年 (1985年)	1
3	〃	朝比奈配水池	51	昭和59年 (1984年)	2
4	〃	御前崎配水池	130	昭和46年 (1971年)	3
5	〃	新野配水池	83	平成16年 (2004年)	1
6	〃	高松配水池	65	平成17年 (2005年)	1

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

上水道系施設では9棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積（㎡）
佐倉浄水場	管理棟北側	昭和 39 年 (1964 年)	49年	73
佐倉浄水場	電気室等	昭和 39 年 (1964 年)	49年	156
佐倉浄水場	滅菌室等(朝水ポンプ室)	昭和 42 年 (1967 年)	46年	64
佐倉浄水場	第 2 水源井戸	昭和 46 年 (1971 年)	42年	12
佐倉浄水場	塩素ポンベ室	昭和 55 年 (1980 年)	33年	6
佐倉浄水場	簿内倉庫	昭和 57 年 (1982 年)	31年	52
御前崎配水池	滅菌室	昭和 44 年 (1969 年)	44年	19
御前崎配水池	ポンプ室	昭和 44 年 (1969 年)	44年	55
御前崎配水池	倉庫	昭和 46 年 (1971 年)	42年	56

②管理運営経費

施設名	区 分	平成 25 年度	
		収入（千円）	支出（千円）
配水場	収益的収支	934,674	929,127
他 5 施設	資本的収支	68,515	343,995

※管理運営経費は年度の水道事業会計決算額（公営企業会計）です。

（消費税込）

第12節 下水道施設

(1) 配置状況

下水道施設は8施設、建物数は16棟、延床面積は4,446㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	下水道施設	池新田浄化センター	1,728	平成7年 (1995年)	6
2	"	高松浄化センター	922	平成9年 (1997年)	4
3	"	佐倉地区集排処理施設	118	平成2年 (1990年)	1
4	"	忍沢地区集排処理施設	425	平成4年 (1992年)	1
5	"	比木地区集排処理施設	351	平成7年 (1995年)	1
6	"	上朝比奈地区集排処理施設	352	平成11年 (1999年)	1
7	"	下朝比奈地区集排処理施設	192	平成5年 (1993年)	1
8	"	新野地区集排処理施設	358	平成18年 (2006年)	1

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

築30年以上経過した建物はありません。

②管理運営経費

施設名	平成 25 年度	
	収入（千円）	支出（千円）
浄化センター他7施設	935,244	923,620

※管理運営経費は年度の下水道・農業集落排水事業会計決算額です。



第13節 医療施設

(1) 配置状況

医療施設は13施設、建物数は18棟、延床面積は20,351㎡あります。



○施設一覧

	分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
1	医療施設	病棟	17,414	昭和61年 (1986年)	6
2	〃	医師マンション	583	昭和61年 (1986年)	1
3	〃	看護宿舎	1,324	昭和61年 (1986年)	1
4	〃	職員住宅 B-1	98	昭和61年 (1986年)	1
5	〃	職員住宅 B-2	98	昭和61年 (1986年)	1
6	〃	職員住宅 B-3	98	昭和61年 (1986年)	1
7	〃	職員住宅 B-4	98	昭和61年 (1986年)	1

8	〃	職員住宅 C-1	98	昭和61年 (1986年)	1
9	〃	職員住宅 C-2	98	昭和61年 (1986年)	1
10	〃	職員住宅 C-3	98	昭和61年 (1986年)	1
11	〃	職員住宅 C-4	98	昭和61年 (1986年)	1
12	〃	職員住宅 E-1	123	昭和62年 (1987年)	1
13	〃	職員住宅 E-2	123	昭和62年 (1987年)	1

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

築30年以上経過した建物はありません。

②管理運営経費

施設名	区分	平成 25 年度	
		収入（千円）	支出（千円）
病院本館	収益的収支	4,352,826	4,537,450
他 17 施設	資本的収支	106,298	311,270

※管理運営経費は年度の病院事業会計決算額（公営企業会計）です。

（消費税込）



病棟



医師マンション



看護宿舎

第5章 公共施設マネジメントの必要性と今後の取組について

第1節 公共施設マネジメントの必要性

本市では、整備してきた公共施設について、今後老朽化が進み、その多くが大規模修繕や建替え時期を迎えるなど、公共施設に関する大きな財政投資が求められています。

また、施設により利用者負担額や、市民1人当たりの負担額にばらつきがあります。

その一方で、施設の老朽化による利便性や快適性の低下や人口減少、年齢構成の変動などの影響から、利用者の減少が予想されます。

このようなことから、公共施設の需給のミスマッチやフルセット主義からの決別が課題となっており、民間活力の活用を含め、公共施設をより戦略的な観点からマネジメントすることが一層必要となってきました。

■市民1人当たりの負担額（分類別一覧）

分 類	市民1人当たり負担額
市民文化系施設	5,767 円
社会教育系施設	2,155 円
学校教育系施設	11,501 円
スポーツレクリエーション系施設	7,770 円
子育て支援施設	3,823 円
福祉・保健施設	2,532 円
行政系施設	4,289 円
公営住宅	2,259 円
公園	2,928 円
その他	1,885 円
合 計	44,909 円

市民一人当たりの負担額は

44,909円です。



第2節 今後の取組について

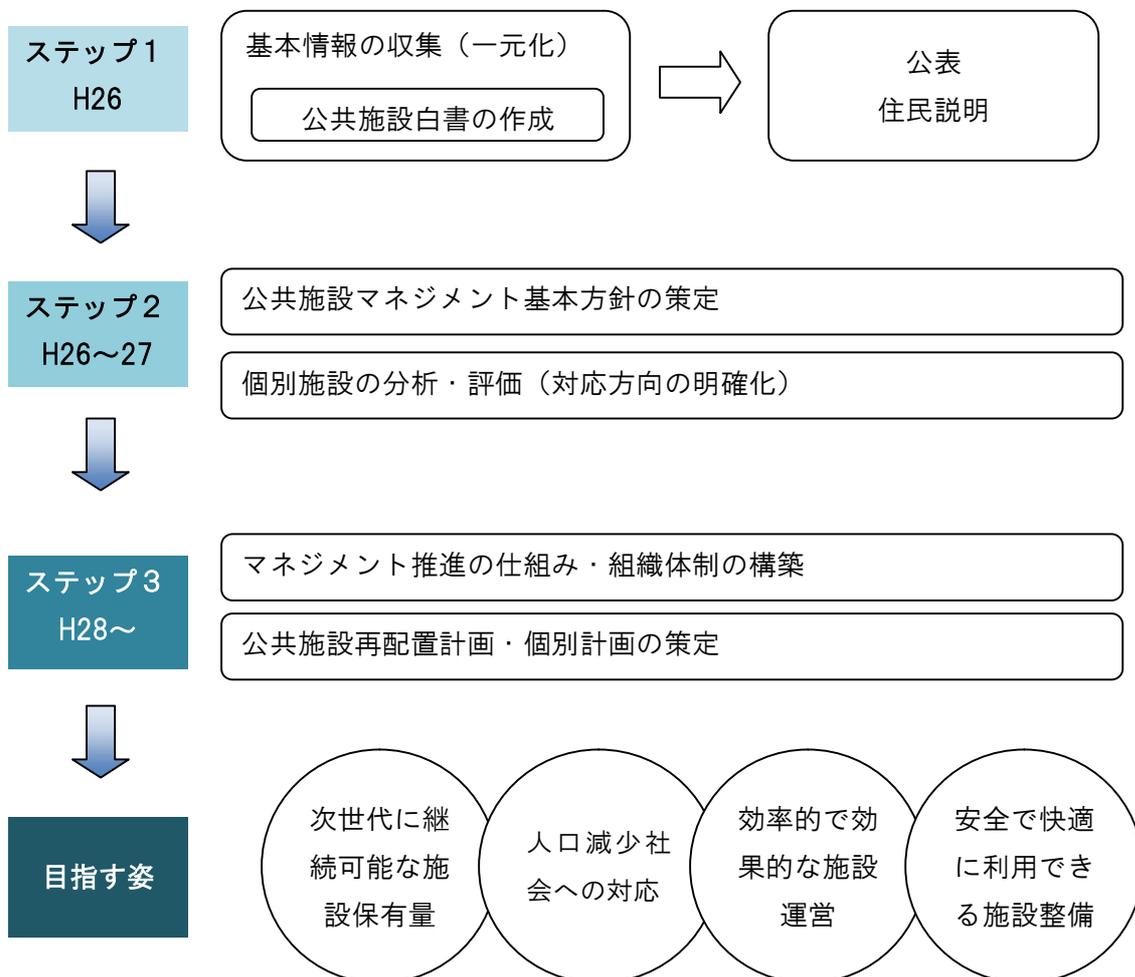
今回の公共施設白書の作成・公表は、今後、将来の公共施設のあり方について検討していくためのステップ1として位置付けています。まずは、本市の公共施設の現状と将来の改修・更新費用、さらには、将来の人口推計や財政の状況など、市民の皆さんに広く本市の状況を知っていただくことを目的としています。

次のステップ2では、公共施設白書のデータを基に、将来にわたり真に必要な施設サービスは何か、最も効果的・効率的な施設運営を行うにはどうすべきか、などについて十分な検討を重ね、個別施設の対応方向を明らかにするとともに、全庁的な公共施設マネジメントの指針を策定し、合わせてマネジメントの推進体制を整備します。

さらに、ステップ3として、市全体の公共施設の再配置計画や長寿命化計画を策定する予定としています。この計画の策定段階では、有識者や専門家の意見を聞きながら、ある程度の時間をかけ、幅広い議論ができるような方法について、今後検討していきます。

公共施設の再編・再配置は、行財政運営の効率化という観点はもとより、将来の御前崎市のまちづくりを念頭に置き、将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいくために、市民の皆さんの御理解を得ながら進めていきたいと考えます。

《今後の進め方（イメージ図）》



公共施設の配置状況

